

事業番号	事業名	内容	対象外項目番号
1	勤労者対策事業	労働者の厚生活動等への助成と労働環境改善への支援	-
2	勤労者金融対策・生活資金預託事業	町内に居住する勤労者の生活環境支援として、中央労働金庫へ預託を行う	-
3	勤労者住宅・生活資金利子補給事業	勤労者の生活資金及び住宅資金の返済に対し、利子補給を行う	-
4	農業総務運営事務事業	農業全般の事務処理と備品、物品、不動産等の維持管理。農政協力員に関すること	-
5	農業振興普及事業	農産物の各種品評会の開催、湘南農協への支援、湘南ゴールドの苗木購入補助、その他農業支援	-
6	農水産物まつり事業	実行委員会（町、農協、漁協）形式による農水産物の展示即売会及び町主催による農水産物品評会の実施	-
7	農業制度資金利子補給事業	農業設備の近代化、及び農業後継者の育成ならびに農業経営の合理化を目的とした資金の借入れに対する利子補給	-
8	直売所・加工所運営事務事業	寺坂加工所及び城山直売所の維持管理と町内農産物の消費者への紹介	-
9	市民農園事業	7箇所の市民農園募集、貸付	-
10	鳥獣対策事業	農作物へのイノシシ被害対策として湘南有害鳥獣対策協議会への負担金、猟友会への委託	-
11	農地活用推進事業	新規就農者、新規参入法人等への農地をあっせんし、集約化する	-
12	畜産振興事業	畜産会の事務処理、各種共進会に協力し、各種畜産振興に対する助成	-
13	農業用水路等維持管理事業	農業用水路の維持管理	-
14	林業振興事業	特殊林産物の促進、県森林協会への負担金支出	-
15	漁業振興運営事業	朝市事業に対する支援、各種関係団体への負担金支出、漁業の振興における栽培漁業の啓発	-
16	商工業振興推進事業	商工会への補助等事務	-
17	中小企業金融対策資金預託事業	中小企業者の設備、運転資金に対する支援として金融機関へ資金預託し、融資を行う	-
18	商工業活性化対策事業	中小企業者の信用保証料補助金の申請事務	-
19	観光振興対策事業	町の観光振興のため、町観光協会等への助成、イベントの案内、事業所等の紹介、問い合わせ対応、関係機関との協議、「新たな観光の核づくり」の推進、観光キャラクター製作、ウォークラリーの開催	-
20	海水浴場振興事業	海水浴場発祥の地としての特性を活かし、海水浴場利用者による誘客を図るため、海水浴場の開設・管理運営を行う。また、海水浴場開設130周年記念事業の開催	-
21	観光施設管理運営事業	駅前ロータリー、公衆トイレの維持管理を行う。	-
22	大磯西行祭開催事業	西行法師ゆかりの鳴立庵にて、俳道・歌道の発展を目的に、俳句・短歌大会を行う。	-
23	旧島崎藤村邸管理事業	島崎藤村が晩年を過ごした邸宅の維持管理を行う。	-
24	鳴立庵管理事業	日本三大俳諧道場の一つである鳴立庵の維持管理を行う。	-
25	町営照ヶ崎プール管理運営事業	町営照ヶ崎プールの維持管理を行う。	-
26	新たな観光の核づくり推進事業	新たな観光の核づくり基本計画に基づき、目標を達成するため、関係団体等と連絡調整を行いつつ、複数の専門部会を開催する。	-
27	大磯港活性化事業	大磯港の整備のあり方等について、県、関係団体等との調整を行う	-
28	大磯港指定管理事務事業	県との間で締結した「大磯港の管理に関する基本協定書」等に基づき、大磯港の管理を行う	-
29	プレミアム商品券発行事業	国の地域活性化・地域住民生活等支援交付金を活用し、プレミアム商品券を発行する(H26繰越事業)	④
30	観光トイレ整備事業	老朽化した高麗公衆トイレを改修する(H26繰越事業)	④
31	町営照ヶ崎プール整備事業	擬岩及び管理休憩棟のトップライトを改修する(H26繰越事業)	④

予算事業名	勤労者対策事業	シート作成日	平成27年8月28日
		担当課名	産業観光課
細分事業名	—	係名	観光推進係
		事業番号	1
		事業開始年度	平成13年度

1.総合計画上の位置づけ

章	第5章 個性と魅力と活力のあるまちづくり	総合計画実施計画	
項	第3項 活力と個性あふれる産業の振興	認定番号	—
節	第4節 労働	事業名	—

2.事業の概要

根拠法令・条例等	—				
個別計画等	—				
行革大綱実施計画事業 (細目コード・事業名)	—				
目的 (何のために)	関係団体との連携による労働環境等の改善				
対象 (誰を・何を)	町内に居住する勤労者				
内容	労働者福祉協議会が行う福利厚生事業や労働衛生相談医の窓口設置に対する補助を行う				
執行体制	<input type="checkbox"/> 町職員実施 <input type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> その他				
事業費	直接事業費 (a)	単位	平成25年度 (決算)	平成26年度 (決算見込)	平成27年度 (予算)
	国庫支出金	千円	347	360	362
	県支出金	千円			
	起債	千円			
	その他	千円			
	一般財源	千円	347	360	362
	職員人数 (概算職員数)	人	0.11	0.11	0.09
	人件費計 (b)	千円	674	674	537
	総事業費 (a)+(b)	千円	1,021	1,034	899
事業費内訳 H 27 年度	普通旅費：2千円、労働衛生相談医事業負担金：300千円、西湘地域労働者団体自主事業補助金：60千円				

3.指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	25年度 (実績値)	26年度 (実績値)	27年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 勤労者数	人	13,067	13,067	13,067
	②				
活動指標 (活動量)	① 厚生活動事業数	回	5	5	5
	② 労働衛生相談回数	回	23	24	24
成果指標 (達成度等)	① 労働者福祉協議会参加者数	人	700	800	800
	② 労働衛生相談者数	人	23	24	24

4.事務事業の評価

妥当性	・実施主体は妥当か	理由	<input type="checkbox"/> 妥当 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他 本町の勤労者に対する情報提供や本町をエリアとする関係団体との調整を行っており、おおむね妥当である。
	・実施手段は妥当か	理由	<input type="checkbox"/> 妥当 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他 町単独での事業実施が困難なことから、関係機関との連携による情報提供や地域労働団体等への支援を行っている。
成果	・意図した成果が得られているか	理由	<input type="checkbox"/> 得られている <input checked="" type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他 産業医による相談業務や地域労働団体による福利厚生事業への支援による実績から、一定の効果につながっている。
	・コストに対して効率的か	理由	<input type="checkbox"/> 効率的 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他 関係機関との連携や地域労働団体等への支援を通じ、効率的な執行に努めている。
効率性	・コストの削減等を図ったか	理由	<input checked="" type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他 関係機関との連携や地域労働団体等への支援を通じ、効率的な執行に努めている。
	担当課による評価	<input type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）	
		評価理由 情報収集・提供等の更なる充実が必要。	

5.改革・改善の方向性

① 課題点や改善点	勤労者支援情報や就労情報の提供など、事業の充実が必要。
② 平成27年度に着手する事項	勤労者支援情報や就労情報等の更なる情報収集・提供に努める。
③ 平成28年度に着手する事項	各種情報収集・提供に努めるとともに、新たな勤労者支援施策の検討を行う。

6.平成28年度事業への取組み状況（改善内容等）

記入日 平成28年2月26日

勤労者支援情報や就労情報の情報収集・提供について、各関係機関及び民間の就労斡旋広報誌との連携により、充実を図る。
--

予算事業名	勤労者金融対策事業・生活資金預託事業	シート作成日	平成27年8月28日
		担当課名	産業観光課
細分事業名	—	係名	観光振興係
		事業番号	2
		事業開始年度	平成3年度

1.総合計画上の位置づけ

章	第5章 個性と魅力と活力のあるまちづくり	総合計画実施計画	
項	第3項 活力と個性あふれる産業の振興	認定番号	—
節	第4節 労働	事業名	—

2.事業の概要

根拠法令・条例等	大磯町勤労者生活融資要綱				
個別計画等	—				
行革大綱実施計画事業 (細目コード・事業名)	—				
目的 (何のために)	町内に居住する勤労者の生活の安定と向上に資するため、生活資金の融資を円滑に行えるよう、取扱金融機関（中央労働金庫）に資金の預託を行う。				
対象 (誰を・何を)	町内に居住する勤労者				
内容	取扱金融機関に予算で定める範囲の融資資金を無利息で預託し、当該金融機関に融資を行わせる。①資金の用途：勤労者の生活向上改善資金（持ち家の増改築、本人が親族の冠婚葬祭費、医療費、子供の入学資金等）②貸付限度額：150万円③貸付利率：年度当初に取扱金融機関と協議④返済期間：5年以内⑤返済の方法：元利均等割賦返済⑥保証：取扱金融機関の定めによる				
執行体制	<input type="checkbox"/> 町職員実施 <input type="checkbox"/> 一部委託あり <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
事業費	直接事業費 (a)	単位	平成25年度 (決算)	平成26年度 (決算見込)	平成27年度 (予算)
	国庫支出金	千円	20,000	20,000	20,000
	県支出金	千円			
	起債	千円			
	その他	千円	20,000	20,000	20,000
	一般財源	千円			
	職員人数 (概算職員数)	人	0.01	0.01	0.08
	人件費計 (b)	千円	61	61	478
総事業費 (a)+(b)	千円	20,061	20,061	20,478	
事業費内訳 H 27 年度	勤労者生活資金預託金：20,000千円				

3.指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	25年度 (実績値)	26年度 (実績値)	27年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 利用者数	人	17	13	7
	②				
活動指標 (活動量)	① 預託額	千円	20,000	20,000	20,000
	②				
成果指標 (達成度等)	① 利用件数	件	17	13	7
	②				

4.事務事業の評価

妥当性	<input type="checkbox"/> 妥当 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他	理由	町内勤労者に対する支援であり、おおむね妥当である。
	<input type="checkbox"/> 妥当 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他	理由	預託により、融資を専門とする金融機関から町内勤労者に対する貸付が行われているため。
成果	<input type="checkbox"/> 得られている <input checked="" type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他	理由	融資状況から、一定の効果は得られている。更なる活用に向けて周知等に取り組む。
	<input type="checkbox"/> 効率的 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率的 <input type="checkbox"/> その他	理由	金融機関により融資が行われており、おおむね効率的である。
効率性	<input type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input type="checkbox"/> 図る余地は無い <input checked="" type="checkbox"/> その他	理由	預託金の支出のため
	<input type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）	評価理由	制度の活用に向けた取り組みが必要。
担当課による評価			

5.改革・改善の方向性

① 課題点や改善点	制度の周知や融資の条件の見直しなど、積極的な活用が図られるような対策が必要である。
② 平成27年度に着手する事項	広報・町ホームページ等により制度のPRを行う。
③ 平成28年度に着手する事項	PRや融資条件の見直しなど、積極的な活用が図られるような取組みを検討する。

6.平成28年度事業への取組み状況（改善内容等）

記入日 平成28年2月26日

積極的な活用が図られるよう広報、町ホームページ等により制度のPRに努めるとともに、融資条件の見直しなど今後の更なる活用に向けた検討を行う。

予算事業名	勤労者住宅・生活資金利子補給事業	シート作成日	平成27年8月28日
		担当課名	産業観光課
細分事業名	—	係名	観光振興係
		事業番号	3
		事業開始年度	昭和53年度

1.総合計画上の位置づけ

章	第5章 個性と魅力と活力のあるまちづくり	総合計画実施計画	
項	第3項 活力と個性あふれる産業の振興	認定番号	—
節	第4節 労働	事業名	—

2.事業の概要

根拠法令・条例等	大磯町勤労者住宅資金利子補給要綱、大磯町勤労者生活資金利子補給要綱				
個別計画等	—				
行革大綱実施計画事業 (細目コード・事業名)	—				
目的 (何のために)	取扱金融機関(中央労働金庫)から住宅資金や生活資金の融資を受けた勤労者に対し、生活の安定に資するため予算の範囲内で利子の一部を補給する。				
対象 (誰を・何を)	①住宅資金の利子補給対象者…住民基本台帳登録者、事務所または事業所に勤務している者、自己が所有し、かつ自ら居住する住宅を町内に新築、増築、改築又は購入する者 ②生活資金利子補給対象者…町内に居住している勤労者				
内容	①住宅資金利子補給…上記条件を満たす者が自ら居住する住宅を町内に新築、増築、改築又は購入する際、1月1日～12月31日までに支払った利子に対し、融資の額(400万円を限度)に応じ定める額の範囲内 ②生活資金利子補給…利子補給の額は3%を上回る貸付利率で貸付を受けた者が支払った利息のうち、3%を超える部分に相当する額				
執行体制	<input type="checkbox"/> 町職員実施 <input type="checkbox"/> 一部委託あり <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
事業費	直接事業費 (a)	単位	平成25年度 (決算)	平成26年度 (決算見込)	平成27年度 (予算)
	国庫支出金	千円	755	839	1,413
	県支出金	千円			
	起債	千円			
	その他	千円			
	一般財源	千円	755	839	1,413
	職員人数(概算職員数)	人	0.04	0.04	0.09
	人件費計 (b)	千円	245	245	537
	総事業費 (a)+(b)	千円	1,000	1,084	1,950
事業費内訳 H 27 年度	勤労者住宅資金利子補給事業補助金：1,412千円 勤労者生活資金利子補給事業補助金：1千円				

3.指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	25年度 (実績値)	26年度 (実績値)	27年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 貸付件数(住宅資金)	件	28	27	28
	② 貸付件数(生活資金)	件	0	0	0
活動指標 (活動量)	① 利用者数(住宅資金)	人	28	27	28
	② 利用者数(生活資金)	人	0	0	0
成果指標 (達成度等)	① 利用者数	人	28	27	28
	② 実績額	千円	755	839	1,000

4.事務事業の評価

妥当性	<input type="checkbox"/> 妥当 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他	理由	町内勤労者に対する支援であり、おおむね妥当である。
	<input type="checkbox"/> 妥当 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他	理由	金融機関との連携が不可欠であるので、手段としてはおおむね妥当。
成果	<input type="checkbox"/> 得られている <input checked="" type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他	理由	住宅資金利子補給については、おおむね成果が得られている。
	<input type="checkbox"/> 効率的 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他	理由	金融機関を通しての実施であり、おおむね効率的に運用できている。
効率性	<input type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input type="checkbox"/> 図る余地は無い <input checked="" type="checkbox"/> その他	理由	利子補給に伴う助成のみとなっている。
	<input type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）	評価理由 生活資金利子補給については、対象となる利率の見直しなどの検討が必要。	
担当課による 評価			

5.改革・改善の方向性

① 課題点や改善点	<p>制度の周知及び利率の見直し等、制度の活用に向けた対策が必要である。</p>
② 平成27年度に着手する事項	<p>広報・町ホームページ等により制度のPRを行う。</p>
③ 平成28年度に着手する事項	<p>生活資金の利子補給額の利率の見直しや制度のPRなど、積極的な活用が図られるような取組みを検討する。</p>

6.平成28年度事業への取組み状況（改善内容等）

記入日 平成28年2月26日

積極的な活用が図られるよう広報、町ホームページ等により制度のPRに努めるとともに、生活資金の利子補給額の利率見直しなど今後の活用に向けた検討を行う。

予算事業名	農業総務運営事務事業	シート作成日	平成27年8月28日
		担当課名	産業観光課
細分事業名	—	係名	産業振興係
		事業番号	4
		事業開始年度	—

1.総合計画上の位置づけ

章	第5章 個性と魅力と活力のあるまちづくり	総合計画実施計画	
項	第3項 活力と個性あふれる産業の振興	認定番号	—
節	第1節 農業	事業名	—

2.事業の概要

根拠法令・条例等	—				
個別計画等	—				
行革大綱実施計画事業 (細目コード・事業名)	—				
目的 (何のために)	農業全般の事務処理と備品、物品、不動産等の維持管理、農政協力員に関すること				
対象 (誰を・何を)	農政協力員、職員事務用品、公用車維持用品、東町倉庫維持管理				
内容	①農政協力員 農家と町のパイプ役である農政協力員に各種町事業への協力依頼、取りまとめを依頼し謝金を支払う ②各種配布物の頒布、所得補償の取りまとめ、農産物品評会の出品物とりまとめ、各種共進会の取りまとめ ③公用車の維持管理、④東町倉庫の維持管理				
執行体制	<input checked="" type="checkbox"/> 町職員実施 <input type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
事業費		単位	平成25年度 (決算)	平成26年度 (決算見込)	平成27年度 (予算)
	直接事業費 (a)	千円	2,414	2,593	1,741
	国庫支出金	千円			
	県支出金	千円			
	起債	千円			
	その他	千円			
	一般財源	千円	2,414	2,593	1,741
	職員人数 (概算職員数)	人	0.57	0.57	0.39
	人件費計 (b)	千円	3,493	3,493	2,328
総事業費 (a)+(b)	千円	5,907	6,086	4,069	
事業費内訳 H 27 年度	農政協力員謝金：279千円、普通旅費：6千円、消耗品：15千円、燃料費：147千円、光熱水費：39千円、自動車車検等修繕料：10千円、自動車損害保険料：32千円、各種保守委託料：9千円、自動車通行料：5千円、プレハブ借上料：1,970千円、公用車リース料：238千円				

3.指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	25年度 (実績値)	26年度 (実績値)	27年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 農家世帯 (台帳)	戸	468	467	470
	②				
活動指標 (活動量)	① 農家人口	人	973	950	950
	②				
成果指標 (達成度等)	① 農政協力員	人	31	31	31
	②				

4.事務事業の評価

妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他	理由	事務経費等であるため、妥当と考えている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他	理由	事務経費等の執行のため、妥当と考えている。
成果	<input checked="" type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他	理由	農政協力員と協力し、農家への各種配布物の頒布や米の需給調整のとりまとめなどを実施しており、一定の効果が得られていると考えている。
	<input type="checkbox"/> 効率的 <input type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input checked="" type="checkbox"/> その他	理由	事業推進するに当たり、必要となる事務経費だけの運営としているため。
効率性	<input type="checkbox"/> 図った <input checked="" type="checkbox"/> 図られていない <input type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他	理由	事務経費が主であり、経費の削減は厳しい。
	<input type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）	評価理由 事務経費が主であり、経費の削減は図られていると考えていますが、農政協力員の町農政への関わりなどを見直していく必要があると思われる。	
担当課による 評価			

5.改革・改善の方向性

① 課題点や改善点	なし
② 平成27年度に着手する事項	なし
③ 平成28年度に着手する事項	農業従事者の高齢化や後継者不足、耕作放棄地の増加している中、今後の農業政策に関して、農政協力員との協力体制を強化し、対策を進めて行く。

6.平成28年度事業への取組み状況（改善内容等）

記入日 平成28年2月26日

農政協力員の町農業政策に対する関わりを深めてもらうため、農協の生産組合長会議などを通じ農政協力員との農業政策に対する連携をさらに強化する。

予算事業名	農業振興普及事業	シート作成日	平成27年8月28日
		担当課名	産業観光課
細分事業名	—	係名	産業振興係
		事業番号	5
		事業開始年度	—

1.総合計画上の位置づけ

章	第5章 個性と魅力と活力のあるまちづくり	総合計画実施計画	
項	第3項 活力と個性あふれる産業の振興	認定番号	—
節	第1節 農業	事業名	—

2.事業の概要

根拠法令・条例等	大磯町青果物価格安定対策補助金交付要綱ほか要綱				
個別計画等	—				
行革大綱実施計画事業 (細目コード・事業名)	—				
目的 (何のために)	農産物の普及推進、担い手育成のため				
対象 (誰を・何を)	販売農家全般、新規就農者				
内容	①各種立毛品評会の開催(落葉果樹、みかん)②湘南地域担い手育成総合支援協議会負担金(平塚、二宮、大磯町、農協等と認定農業者への講習会、経営相談、農地の貸借のあっせん)③湘南地域農業再生協議会への参加(個別所得補償制度の推進、戦略作物の生産振興、農地の利用促進、耕作放棄地の再生利用、担い手の育成確保などに関する取り組みを1市2町と農業委員会農協、県、畜産会)・青果物価格安定対策への補助(きゅうり、トマト、小松菜、ねぎ等の生産者に対して国60%、県20%、生産者20%の割合で基金をつくりその生産者負担額の15%を補助する)④大磯町特産物奨励補助金(現在は落葉果樹を生産する農家へ補助を行う定額)⑤湘南ゴールド苗木購入補助金(苗木に1/3補助)⑥園芸廃棄物処理システム事業補助(園芸用廃棄ビニールの処理費用の1/3を補助する)⑦湘南農協への支援				
執行体制	<input type="checkbox"/> 町職員実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
事業費		単位	平成25年度 (決算)	平成26年度 (決算見込)	平成27年度 (予算)
	直接事業費 (a)	千円	827	773	1,027
	国庫支出金	千円			
	県支出金	千円	441	441	
	起債	千円			
	その他	千円			
	一般財源	千円	386	332	1,027
	職員人数(概算職員数)	人	0.48	0.48	0.39
	人件費計 (b)	千円	2,941	2,941	2,328
総事業費 (a)+(b)	千円	3,768	3,714	3,355	
事業費内訳 H 27 年度	消耗品費：57千円、湘南地域担い手育成総合支援協議会負担金：77千円、湘南地域農業再生協議会負担金：441千円、青果物価格安定対策事業補助金：200千円、大磯町特産物奨励補助金：35千円、湘南ゴールド苗木購入補助金、園芸廃棄物処理システム事業補助金：100千円、湘南農業協同組合農業振興対策交付金：50千円				

3.指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	25年度 (実績値)	26年度 (実績値)	27年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	①	販売農家数	戸	195	195
	②				
活動指標 (活動量)	①	認定農業者	人	27	27
	②				
成果指標 (達成度等)	①	認定農業者	人	27	27
	②				

4.事務事業の評価

妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他	理由	関係団体等と連携し、各種農作物の生育指導などの農業振興を進めているため、妥当と考えている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他	理由	県農業技術センターなどの関係機関等と連携し事業を進めているため、妥当と考えている。
成果	<input type="checkbox"/> 得られている <input checked="" type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他	理由	農業振興を目的とした補助事業を実施しており、その実績から概ね成果が得られている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的 <input type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他	理由	それぞれの補助金が農家の経営安定を目的としており、コストに見合った事業と認識している。
効率性	<input type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input type="checkbox"/> 図る余地は無い <input checked="" type="checkbox"/> その他	理由	農業振興を普及するための事務経費や補助金を主としているため。
	<input type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）	評価理由 農水産物まつりの執行体制を平成28年度から見直すことから、農産物品評会のやり方を根本的に見直していきたい。	

5.改革・改善の方向性

① 課題点や改善点	湘南ゴールドの更なる普及啓発に、関係団体等とも連携して努める。
② 平成27年度に着手する事項	なし
③ 平成28年度に着手する事項	負担金の効果検証をアンケートなどの実施を通じて検証して行く。 担い手育成などの農業政策の検討を進めるため、農業振興地域整備計画基礎調査の実施を検討する。 農水産物まつりの実施主体、農産物品評会の実施方法などの検討を行う。

6.平成28年度事業への取組み状況（改善内容等）

記入日 平成28年2月26日

農業の振興を図るため、農家への今後の取組みに関する意向調査や、農用地区域台帳の整理などを業務内容とした、農業振興地域整備計画の更新作業に着手するため、基礎調査を実施する。

予算事業名	農水産物まつり事業	シート作成日	平成27年8月28日
		担当課名	産業観光課
細分事業名	—	係名	産業振興係
		事業番号	6
		事業開始年度	—

1.総合計画上の位置づけ

章	第5章 個性と魅力と活力のあるまちづくり	総合計画実施計画	
項	第3項 活力と個性あふれる産業の振興	認定番号	—
節	第1節 農業	事業名	—

2.事業の概要

根拠法令・条例等	大磯ふれあい農水産物まつり交付要綱				
個別計画等	—				
行革大綱実施計画事業 (細目コード・事業名)	—				
目的 (何のために)	大磯の農水産物を紹介、直売することで広く地産地消を目指す				
対象 (誰を・何を)	町民等				
内容	大磯の農水産物を紹介、直売することで広く地産地消を目指す				
執行体制	<input type="checkbox"/> 町職員実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
事業費	直接事業費 (a)	単位	平成25年度 (決算)	平成26年度 (決算見込)	平成27年度 (予算)
	国庫支出金	千円	450	463	490
	県支出金	千円			
	起債	千円			
	その他	千円	46		
	一般財源	千円	404	463	490
	職員人数 (概算職員数)	人	0.20	0.20	0.40
	人件費計 (b)	千円	1,226	1,226	2,388
	総事業費 (a)+(b)	千円	1,676	1,689	2,878
事業費内訳 H 27 年度	消耗品費：183千円、印刷製本費：7千円、ふれあい農水産物まつり事業交付金：300千円				

3.指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	25年度 (実績値)	26年度 (実績値)	27年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 町民等	人	32,000	32,000	32,000
	②				
活動指標 (活動量)	① 町民等	人	32,000	32,000	32,000
	②				
成果指標 (達成度等)	① 来場者数	人	3,900	3,500	4,000
	②				

4.事務事業の評価

妥当性	<input type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input checked="" type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他
	理由 ・実施主体は妥当か 農水産物まつりを開催することで、多くの来訪者に町の農水産物を紹介するとともに、町内で生産される農作物を知ってもらい、地産地消を目指すこと、また、農産物品評会を開催することで、生産者の生産意欲の向上と品質向上を目指していたが、当初の目的を達成したことで、農産物まつりの実施主体を農協に移し、町は品評会を中心とした事業展開をして行く必要がある。
妥当性	<input type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input checked="" type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他
	理由 ・実施手段は妥当か 農水産物まつりを開催することで、多くの来訪者に町の農水産物を紹介するとともに、町内で生産される農作物を知ってもらい、地産地消を目指すこと、また、農産物品評会を開催することで、生産者の生産意欲の向上と品質向上を目指していたが、当初の目的を達成したことで、農産物まつりの実施主体を農協に移し、町は品評会を中心とした事業展開をして行く必要がある。
成果	<input type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> おおむね得られている <input checked="" type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他
	理由 ・意図した成果が得られているか 平成17年度から「農産物まつり」と「さかなまつり」を統合し会場の変更や「大磯市」との同日開催などにより来場者数は増加したこともあるが、農水産物まつりの本来の目的である、「町内農水産物のPR」から異なった趣旨の出店もあり、意図した成果は必ずしも得られていないと考えている。
効率性	<input type="checkbox"/> 効率的 <input type="checkbox"/> おおむね効率的 <input checked="" type="checkbox"/> 非効率的 <input type="checkbox"/> その他
	理由 ・コストに対して効率的か 実行委員会への交付金として支出しているが、町の事務負担は減っておらず、非効率であると判断している。
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他
	理由 ・コストの削減等を図ったか 関係機関との調整事項が多く、町の事務は増加傾向にあるが、実行委員会形式で実施することでコスト面では削減が図られている。
担当課による評価	<input type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input checked="" type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）
評価理由 平成17年度から実施主体を実行委員会に移し、事業を継続してきたが、品評会については、出品数が減少していることもあり、農水産物まつり、品評会とも実施方法の見直しが必要であると考えているから。	

5.改革・改善の方向性

① 課題点や改善点	町、農協、漁協が事務局となり事業を実施しているが、実質的な事務は町が行っているために町の事務の負担が大きくなっている。農産物や水産物の直売は本事業以外でも民間主導で行われていることから、町が実行委員に携わる形で本事業を継続していく必要性について検討する必要がある。
② 平成27年度に着手する事項	次年度以降の事業のあり方について関係機関等と検討する。
③ 平成28年度に着手する事項	農水産物まつり事業の実施主体や、品評会の開催方法についての改善を検討する。

6.平成28年度事業への取組み状況（改善内容等）

記入日

平成28年2月26日

大磯の農水産物を紹介、直売することで広く地産地消を目指すという目的にあった実施主体、実施手段について、関係機関と検討を進めて行く。

予算事業名	農業制度資金利子補給事業	シート作成日	平成27年8月28日
		担当課名	産業観光課
細分事業名	—	係名	産業振興係
		事業番号	7
		事業開始年度	—

1. 総合計画上の位置づけ

章	第5章 個性と魅力と活力のあるまちづくり	総合計画実施計画	
項	第3項 活力と個性あふれる産業の振興	認定番号	—
節	第1節 農業	事業名	—

2. 事業の概要

根拠法令・条例等	かながわ都市農業推進資金利子補給要綱				
個別計画等	—				
行革大綱実施計画事業 (細目コード・事業名)	—				
目的 (何のために)	農業経営拡大・安定化等の資金を借入れした農業者に対し借入金の利子補給を行う				
対象 (誰を・何を)	農業者				
内容	各種農業制度資金の借入をした農業者に対し、利子補給を行う				
執行体制	<input type="checkbox"/> 町職員実施 <input type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
事業費	直接事業費 (a)	単位	平成25年度 (決算)	平成26年度 (決算見込)	平成27年度 (予算)
	国庫支出金	千円	2	0	420
	県支出金	千円			
	起債	千円			
	その他	千円			
	一般財源	千円	2	0	420
	職員人数 (概算職員数)	人	0.05	0.05	0.06
	人件費計 (b)	千円	306		358
	総事業費 (a)+(b)	千円	308	0	778
事業費内訳 H 27 年度	農業経営改善資金等利子補給事業費補助金：5千円、かながわ都市農業推進資金利子補給事業費補助金：415千円				

3. 指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	25年度 (実績値)	26年度 (実績値)	27年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 利子補給対象者	人	1	0	1
	②				
活動指標 (活動量)	① 借入金額	千円	228	0	2,000
	②				
成果指標 (達成度等)	① 利子補給額	千円	2	0	420
	②				

4.事務事業の評価

妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 得られている <input checked="" type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他
	・実施主体は妥当か 理由 利子補給の実施主体としては妥当であると考えている。	理由 利子補給の実施手段としては妥当であると考えている。
成果	<input type="checkbox"/> 得られている <input checked="" type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input type="checkbox"/> 図る余地は無い <input checked="" type="checkbox"/> その他
	・意図した成果が得られているか 理由 これまでの実績により、概ね成果は得られていると考えている。	理由 事業目的が利子補給であり、借入残高に左右されるため。
効率性	<input type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input type="checkbox"/> 図る余地は無い <input checked="" type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input type="checkbox"/> 図る余地は無い <input checked="" type="checkbox"/> その他
	・コストに対して効率的か 理由 事業目的が利子補給であり、借入残高に左右されるため。	理由 事業目的が利子補給であり、借入残高に左右されるため。
担当課による評価	<input type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）	評価理由 対象者が減少しているため、農家への周知に工夫が必要。

5.改革・改善の方向性

① 課題点や改善点	事業を活用する農家数が減少している。
② 平成27年度に着手する事項	なし
③ 平成28年度に着手する事項	対象者が減少しているため、周知を含め予算計上について再考する。

6.平成28年度事業への取組み状況（改善内容等）

記入日 平成28年2月26日

対象者の減少対策として、農家への利子補給制度についての周知を強化する。

予算事業名	直売所・加工所運営事務事業	シート作成日	平成27年8月28日
		担当課名	産業観光課
細分事業名	—	係名	産業振興係
		事業番号	8
		事業開始年度	—

1.総合計画上の位置づけ

章	第5章 個性と魅力と活力のあるまちづくり	総合計画実施計画	
項	第3項 活力と個性あふれる産業の振興	認定番号	—
節	第1節 農業	事業名	—

2.事業の概要

根拠法令・条例等	—				
個別計画等	—				
行革大綱実施計画事業 (細目コード・事業名)	—				
目的 (何のために)	2箇所の直売所・加工所の維持管理や農産物の直売を行うことにより、農業振興の一環として事業者の所得の向上を図る				
対象 (誰を・何を)	城山直売所、寺坂加工所				
内容	城山直売所、寺坂加工所の維持管理と町内農産物の消費者への紹介				
執行体制	<input type="checkbox"/> 町職員実施 <input type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> その他				
事業費	直接事業費 (a)	単位	平成25年度 (決算)	平成26年度 (決算見込)	平成27年度 (予算)
	国庫支出金	千円	555	392	415
	県支出金	千円			
	起債	千円			
	その他	千円	70	91	
	一般財源	千円	485	301	415
	職員人数 (概算職員数)	人	0.05	0.05	0.09
	人件費計 (b)	千円	306	306	537
	総事業費 (a)+(b)	千円	861	698	952
事業費内訳 H 27 年度	燃料費：90千円、光熱水費：85千円、修繕料10千円、手数料：35千円、用地借上料：195千円				

3.指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	25年度 (実績値)	26年度 (実績値)	27年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 対象農家数	戸	195	195	195
	②				
活動指標 (活動量)	① 直売所開設日数	日	104	104	104
	② 参加農家数	戸	40	40	40
成果指標 (達成度等)	① 直売所開設日数	日	104	104	104
	②				

4.事務事業の評価

妥当性	・実施主体は妥当か	理由	<input type="checkbox"/> 妥当 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他 意欲のある団体が事業を継続しており、妥当と考えている。
	・実施手段は妥当か	理由	<input type="checkbox"/> 妥当 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他 意欲のある団体が事業を継続しており、妥当と考えている。
成果	・意図した成果が得られているか	理由	<input type="checkbox"/> 得られている <input checked="" type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他 食の安全・安心や地産地消という観点から消費者へのアピール度が強い為、概ね成果は得られていると考えている。
	・コストに対して効率的か	理由	<input type="checkbox"/> 効率的 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他 光熱水費や土地の賃借料が主な経費であり、光熱水費については利用者から応分の負担を得ている。
効率性	・コストの削減等を図ったか	理由	<input type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input type="checkbox"/> 図る余地は無い <input checked="" type="checkbox"/> その他 義務的経費のみのため。
	担当課による評価	<input type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）	評価理由 開設日の拡大や賃借料の受益者負担を検討すべきである。 また、今後のあり方について団体と話し合いを行う必要があることから。

5.改革・改善の方向性

① 課題点や改善点	開設日の拡大、賃借料の受益者負担増や施設の払い下げ等に向けた実施団体との話し合いが必要。
② 平成27年度に着手する事項	なし
③ 平成28年度に着手する事項	開設日の拡大、賃借料の受益者負担増や施設の払い下げ等に向けた実施団体との協議を実施する。

6.平成28年度事業への取組み状況（改善内容等）

記入日 平成28年2月26日

開設日の拡大、賃借料の受益者負担増や施設の払い下げ等に向けた実施団体との協議を実施する。
--

予算事業名	市民農園事業	シート作成日	平成27年8月28日
		担当課名	産業観光課
細分事業名	—	係名	産業振興係
		事業番号	9
		事業開始年度	—

1.総合計画上の位置づけ

章	第5章 個性と魅力と活力のあるまちづくり	総合計画実施計画	
項	第3項 活力と個性あふれる産業の振興	認定番号	—
節	第1節 農業	事業名	—

2.事業の概要

根拠法令・条例等	大磯町市民農園事業実施要綱				
個別計画等	—				
行革大綱実施計画事業 (細目コード・事業名)	—				
目的 (何のために)	市民農園事業は、町が遊休化した農地を借り受けて区画割し、農業に関心のある住民に区画を貸付け、利用者に余暇の充実や生きがいの場を提供するとともに、農地の保全活用を図ることを主な目的とし、事業開始から約10年が経過した。				
対象 (誰を・何を)	町民、農地所有者				
内容	農地 … 計7園 268区画 7,347㎡ ①木ノ川 (26区画、984㎡) ②東中道 (104区画、2,542㎡) ③諏訪の下 (20区画、686㎡) ④西中道 (53区画、1,352㎡) ⑤南掘込 (51区画、1,196㎡) ⑥五反田中 (7区画、317㎡) ⑦月 京 (7区画、270㎡)				
執行体制	<input type="checkbox"/> 町職員実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
事業費	直接事業費 (a)	単位	平成25年度 (決算)	平成26年度 (決算見込)	平成27年度 (予算)
	国庫支出金	千円	144	153	204
	県支出金	千円			
	起債	千円			
	その他	千円	144		
	一般財源	千円		153	204
	職員人数 (概算職員数)	人	0.09	0.09	0.28
	人件費計 (b)	千円	552	552	1,671
	総事業費 (a)+(b)	千円	696	705	1,875
事業費内訳 H 27 年度	消耗品費：67千円、燃料費：5千円、手数料：21千円、用地借上料：111千円				

3.指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	25年度 (実績値)	26年度 (実績値)	27年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 町民 (人口、4/1)	人	32,625	32,523	32,377
	②				
活動指標 (活動量)	① 貸付数	区画	256	254	268
	②				
成果指標 (達成度等)	① 貸付数	区画	256	254	262
	②				

4.事務事業の評価

妥当性	・実施主体は妥当か	理由	<input type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input checked="" type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他 利用者ニーズは多様化（区画の拡大、期間延長、施設整備等）しており、公共サービスだけでは限界がある。 市民農園整備促進法に基づき、市民農園の運営者は、土地所有者や民間事業者も可能となっているため。
	・実施手段は妥当か	理由	<input type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input checked="" type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他 事業費や職員による圃場（ほじょう）整備により事業を持続していくには、作業の更なる効率化や委託化によるコスト縮減を図るとともに、使用料については近隣自治体に比較して安価なため、必要経費などの事業費を考慮した額に是正していくことが求められる。
成果	・意図した成果が得られているか	理由	<input type="checkbox"/> 得られている <input checked="" type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他 担い手の高齢化や、後継者不足による遊休農地が増える傾向にあり、耕作放棄地の抑止の一助としての効果は現れている。
	・コストに対して効率的か	理由	<input type="checkbox"/> 効率的 <input type="checkbox"/> おおむね効率的 <input checked="" type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他 利用者から使用料で、市民農園の賃借料は賄えている。しかしながら圃場整備に係る人件費を考慮すると、使用料収入では、必要経費の50%も賄えていないことから効率的ではないと考えている。
効率性	・コストの削減等を図ったか	理由	<input checked="" type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他 市民農園の区画は3年間の継続利用としているため、順次、使用料の見直しを行っている。
	担当課による評価	<input type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）	評価理由 短期的には効率的な運営を図り、中長期的には民間事業者が主体となるような見直しも念頭に入れる必要がある。

5.改革・改善の方向性

① 課題点や改善点	実施方法や使用料の見直しを実施 民間市民農園の普及促進
② 平成27年度に着手する事項	使用料の増額
③ 平成28年度に着手する事項	現在使用者への継続利用希望調査を行ったり、更なる利用者促進となるようなPRを強化していく。

6.平成28年度事業への取組み状況（改善内容等）

記入日	平成28年2月26日
-----	------------

市民農園区画の適正な維持管理を利用者に対して促し、空き区画への利用希望者の誘導を行う。併せてホームページの更新を行い、市民農園のPRを行う。

予算事業名	鳥獣対策事業	シート作成日	平成27年8月28日
		担当課名	産業観光課
細分事業名	—	係名	産業振興係
		事業番号	10
		事業開始年度	—

1.総合計画上の位置づけ

章	第5章 個性と魅力と活力のあるまちづくり	総合計画実施計画	
項	第3項 活力と個性あふれる産業の振興	認定番号	—
節	第1節 農業	事業名	—

2.事業の概要

根拠法令・条例等	大磯町農作物鳥獣被害対策補助交付金要綱				
個別計画等	—				
行革大綱実施計画事業 (細目コード・事業名)	—				
目的 (何のために)	有害鳥獣による農作物被害の軽減				
対象 (誰を・何を)	農業者				
内容	①鳥獣による被害（特にイノシシによる農作物への被害を軽減するため、設置したイノシシ罠の管理委託） ②湘南有害鳥獣対策協議会 … 大磯町、二宮町、平塚市、農協、県等で鳥獣害による被害防止策等を講ずるため、組織化。 ③鳥獣対策設置費補助金 … 鳥獣害対策のために農家が自衛手段として設置する電気柵、ネット類、金網等の資材に対し町1/3、農協1/3支援する。 ④狩猟免許取得費補助金 … 自衛手段として農家に罠免許の取得するための補助を行う。				
執行体制	<input type="checkbox"/> 町職員実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
	単位	平成25年度 (決算)	平成26年度 (決算見込)	平成27年度 (予算)	
事業費	直接事業費 (a)	千円	1,005	1,420	2,068
	国庫支出金	千円			
	県支出金	千円	427	288	
	起債	千円			
	その他	千円			
	一般財源	千円	578	1,132	2,068
	職員人数 (概算職員数)	人	0.34	0.34	0.45
	人件費計 (b)	千円	2,084	2,084	2,686
総事業費 (a)+(b)	千円	3,089	3,504	4,754	
事業費内訳 H 27 年度	講師等謝金：90千円、旅費：4千円、消耗品費：110千円、手数料：765千円、管理委託料：440千円、機械器具購入費：89千円、鳥獣対策設置費補助金：545千円、狩猟免許取得費補助金：35千円				

3.指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	25年度 (実績値)	26年度 (実績値)	27年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 農家	人	468	467	470
	②				
活動指標 (活動量)	① 電気柵設置	件	15	12	20
	②				
成果指標 (達成度等)	① イノシシ捕獲数	件	62	78	73
	②				

4.事務事業の評価

妥当性	・実施主体は妥当か	理由	<input type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input checked="" type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他 実施主体は町だけではなく、農家自らが自衛策として実施することが望ましく、行政と農家が一体となって鳥獣対策に取り組んで行くことが肝要と考えている。
	・実施手段は妥当か	理由	<input type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input checked="" type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他 農家と町とが一体となった方法が最善と考えている。
成果	・意図した成果が得られているか	理由	<input type="checkbox"/> 得られている <input checked="" type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他 イノシシの捕獲頭数が増加傾向にあり、鳥獣害対策補助事業も農家の要望に応じているため、成果は概ね得られていると考えている。
	・コストに対して効率的か	理由	<input type="checkbox"/> 効率的 <input type="checkbox"/> おおむね効率的 <input checked="" type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他 職員が事業に携わる時間を考慮すると非常に非効率であり、委託等の検討が必要である。
効率性	・コストの削減等を図ったか	理由	<input type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input type="checkbox"/> 図る余地は無い <input checked="" type="checkbox"/> その他 本町の鳥獣害防止対策のための事業であるため。
	担当課による評価		<input type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）
			評価理由 引き続き同様の補助事業の継続と、捕獲業務の効率化を検討する。

5.改革・改善の方向性

① 課題点や改善点	捕獲を中心とした駆除から、被害防止を中心とした対策への転換が必要。
② 平成27年度に着手する事項	鳥獣害対策講習会を開催し、農業者等に対して被害防止対策を学んでもらう。
③ 平成28年度に着手する事項	講習会を継続して獣害被害の発生を抑える意識啓発を更に促進する対策を実施する。

6.平成28年度事業への取り組み状況（改善内容等）

記入日 平成28年2月26日

有害鳥獣被害対策講習会の回数や内容を工夫し、農家や町民自ら被害対策を実践できるような、より効果的な講習会を開催する。また、実施結果をホームページなどを通じて広く町民に周知を図る。

予算事業名	農地活用推進事業	シート作成日	平成27年8月28日
		担当課名	産業観光課
細分事業名	—	係名	産業振興係
		事業番号	11
		事業開始年度	—

1.総合計画上の位置づけ

章	第5章 個性と魅力と活力のあるまちづくり	総合計画実施計画	
項	第3項 活力と個性あふれる産業の振興	認定番号	—
節	第1節 農業	事業名	—

2.事業の概要

根拠法令・条例等	大磯町青年給付金交付要綱				
個別計画等	—				
行革大綱実施計画事業 (細目コード・事業名)	—				
目的 (何のために)	高齢化、担い手不足、非農家への農地の相続、農産物コストの低迷等により遊休化した農地の解消に向けて、事務を進める。				
対象 (誰を・何を)	農業者、農地				
内容	「人・農地プラン」を作成し、新規就農者の支援、一般法人等への農業参入促進、新規作物の検証等により耕作放棄地の解消に向けた施策を展開する				
執行体制	<input type="checkbox"/> 町職員実施 <input type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> その他				
事業費	直接事業費 (a)	単位	平成25年度 (決算)	平成26年度 (決算見込)	平成27年度 (予算)
	国庫支出金	千円	1,516	1,540	1,553
	県支出金	千円	1,500	1,500	1,500
	起債	千円			
	その他	千円			
	一般財源	千円	16	40	53
	職員人数 (概算職員数)	人	0.20	0.20	0.30
	人件費計 (b)	千円	1,226	1,226	1,791
	総事業費 (a)+(b)	千円	2,742	2,766	3,344
事業費内訳 H 27 年度	旅費：4千円、消耗品費：40千円、燃料費9千円、大磯町青年就農給付金：1,500千円				

3.指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	25年度 (実績値)	26年度 (実績値)	27年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 農家数	戸	468	467	470
	②				
活動指標 (活動量)	① 新規参入	件	3	2	3
	②				
成果指標 (達成度等)	① 新規参入	件	3	2	3
	②				

4.事務事業の評価

妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他	理由	個人所有である農地を、農業委員会と連携し農地の利活用を促進するため、借り手と貸し手の間に入り農地を農地の有効活用を図っている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他	理由	町と農業委員会、県が一体となって耕作放棄地の解消の方法を検証しているため。
成果	<input type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> おおむね得られている <input checked="" type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他	理由	少しずつ新規就農者、新規参入法人が増えているが、耕作放棄地の解消までに至っていない。
	<input type="checkbox"/> 効率的 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他	理由	就農支援に対する助成が主なものであり、実績よりおおむね効率的であると考えている。
効率性	<input type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input type="checkbox"/> 図る余地は無い <input checked="" type="checkbox"/> その他	理由	事業の目的により事務経費や補助金が主であるため。
	<input type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）	評価理由 今後も新規就農者の育成と、荒廃農地の削減に向けた対策を実行する必要がある。	

5.改革・改善の方向性

① 課題点や改善点	さらなる農地の利用集積、新規就農者への支援等実施していく。
② 平成27年度に着手する事項	農地中間管理事業を活用した農地利活用の推進
③ 平成28年度に着手する事項	新規就農者の積極的な受け入れ態勢を農業委員会と連携して図る。

6.平成28年度事業への取組み状況（改善内容等）

記入日 平成28年2月26日

平成27年度中に新規青年就農者が1人増えた実績もあり、神奈川県農業アカデミーとも連携をしながら、新規就農者の積極的な受け入れ支援と、農家の高齢化対策として、荒廃農地を増やさないための講習会を開催する。

予算事業名	畜産振興事業	シート作成日	平成27年8月28日
		担当課名	産業観光課
細分事業名	—	係名	産業振興係
		事業番号	12
		事業開始年度	—

1.総合計画上の位置づけ

章	第5章 個性と魅力と活力のあるまちづくり	総合計画実施計画	
項	第3項 活力と個性あふれる産業の振興	認定番号	—
節	第1節 農業	事業名	—

2.事業の概要

根拠法令・条例等	—				
個別計画等	—				
行革大綱実施計画事業 (細目コード・事業名)	—				
目的 (何のために)	乳牛の健全な飼養及び畜産環境				
対象 (誰を・何を)	畜産農家				
内容	環境対策のための薬品の配布、家畜防疫対策、改良、育成牛預託事業の支援				
執行体制	<input type="checkbox"/> 町職員実施 <input type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> その他				
事業費	直接事業費 (a)	単位	平成25年度 (決算)	平成26年度 (決算見込)	平成27年度 (予算)
	国庫支出金	千円	630	655	923
	県支出金	千円			
	起債	千円			
	その他	千円			
	一般財源	千円	630	655	923
	職員人数 (概算職員数)	人	0.37	0.37	0.33
	人件費計 (b)	千円	2,267	2,267	1,970
	総事業費 (a)+(b)	千円	2,897	2,922	2,893
事業費内訳 H 27 年度	消耗品費：29千円、家畜防疫対策費補助金：239千円、種畜改良凍結精液利用事業費補助金：113千円、乳牛育成預託事業費補助金：307千円、県共進会出品者交付金：15千円、町畜産振興交付金：220千円				

3.指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	25年度 (実績値)	26年度 (実績値)	27年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 畜産農家	戸	8	8	7
	②				
活動指標 (活動量)	① 補助件数	件	8	8	7
	②				
成果指標 (達成度等)	① 補助件数	件	8	8	7
	②				

4.事務事業の評価

妥当性	<input type="checkbox"/> 妥当 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他	理由	町畜産会との協働事業であり、おおむね妥当と考えている。
	<input type="checkbox"/> 妥当 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他	理由	町畜産会との協働事業であり、おおむね妥当と考えている。
成果	<input type="checkbox"/> 得られている <input checked="" type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他	理由	おおむね年間計画通り事業等も進捗している。
	<input type="checkbox"/> 効率的 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他	理由	各種補助金の実績があり、効果はおおむね上がっている。
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他	理由	補助金等については毎年畜産農家への聞き取りなどを実施し、必要数を考慮し適正執行を心がけている。
	<input type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）	評価理由	畜産農家が減少しており、計画等についても再度見直す必要がある。二宮町の酪農家とも連携した効率良い事務を検討する。
担当課による 評価			

5.改革・改善の方向性

① 課題点や改善点	畜産への新規参入は難しく、畜産会を中心に担い手育成など今後の在り方について検討する。
② 平成27年度に着手する事項	定例会等で今後の畜産に係る補助事業、対象件数について検討する。
③ 平成28年度に着手する事項	畜産振興のため、二宮町と連携した畜産農家への講習会の実施などの支援を充実する。

6.平成28年度事業への取組み状況（改善内容等）

記入日 平成28年2月26日

畜産農家が減少傾向にあり、二宮町と連携して畜産振興を推進していく。

予算事業名	農業用水路等維持管理事業	シート作成日	平成27年8月28日
		担当課名	産業観光課
細分事業名	—	係名	産業振興係
		事業番号	13
		事業開始年度	—

1.総合計画上の位置づけ

章	第5章 個性と魅力と活力のあるまちづくり	総合計画実施計画	
項	第3項 活力と個性あふれる産業の振興	認定番号	—
節	第1節 農業	事業名	—

2.事業の概要

根拠法令・条例等	—				
個別計画等	—				
行革大綱実施計画事業 (細目コード・事業名)	—				
目的 (何のために)	農業用水路の維持管理を行う				
対象 (誰を・何を)	農業用水路利用者				
内容	農業用水路の維持管理を行う				
執行体制	<input type="checkbox"/> 町職員実施 <input type="checkbox"/> 一部委託あり <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
事業費	直接事業費 (a)	単位	平成25年度 (決算)	平成26年度 (決算見込)	平成27年度 (予算)
	国庫支出金	千円	334	316	440
	県支出金	千円			
	起債	千円			
	その他	千円			
	一般財源	千円	334	316	440
	職員人数 (概算職員数)	人	0.09	0.09	0.29
	人件費計 (b)	千円	552	552	1,731
	総事業費 (a)+(b)	千円	886	868	2,171
事業費内訳 H 27 年度	消耗品費：28千円、修繕料：372千円、県土地改良事業団体連合会負担金40千円				

3.指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	25年度 (実績値)	26年度 (実績値)	27年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 農家数	戸	468	467	470
	②				
活動指標 (活動量)	① 修繕発注件数	件	4	3	3
	②				
成果指標 (達成度等)	① 補助件数	件	4	3	3
	②				

4.事務事業の評価

妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他	理由	農業用水路の修繕については町の管理であるため。
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他	理由	農業用水路の修繕については町の管理であるため。
成果	<input checked="" type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他	理由	要望や緊急度を考慮して優先順位を定め修繕を実施している。
	<input type="checkbox"/> 効率的 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他	理由	緊急性のあるものから予算化して実施している。
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他	理由	状況に応じた必要最小限の修繕を行い、大規模な改修等は補助事業として検討を行った。
	<input type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）	評価理由	全体的に施設が老朽化しているため、計画的な修繕が必要。そのため、老朽化が著しい西小磯水路については、補助事業として整備を行う。
担当課による 評価			

5.改革・改善の方向性

① 課題点や改善点	全体的に農業用水路の老朽化による損傷が進んでいるため、台風などの災害発生後に生じる水路の損傷に対応する経費と計画的な補修工事が必要。
② 平成27年度に着手する事項	なし
③ 平成28年度に着手する事項	老朽化が著しい西小磯の排水路については、国の補助を受け、3ヵ年をかけて計画的な水路改修を行う。

6.平成28年度事業への取組み状況（改善内容等）

記入日

平成28年2月26日

既存水路の維持管理を行うとともに、老朽化が激しい西小磯地区の排水路整備を実施する。（設計・工事）

予算事業名	林業振興事業	シート作成日	平成27年8月28日
		担当課名	産業観光課
細分事業名	—	係名	産業振興係
		事業番号	14
		事業開始年度	—

1.総合計画上の位置づけ

章	第5章 個性と魅力と活力のあるまちづくり	総合計画実施計画	
項	第3項 活力と個性あふれる産業の振興	認定番号	—
節	第3節 商工業	事業名	—

2.事業の概要

根拠法令・条例等	—				
個別計画等	—				
行革大綱実施計画事業 (細目コード・事業名)	—				
目的 (何のために)	しいたけ生産者への協力				
対象 (誰を・何を)	しいたけ生産者				
内容	しいたけ生産者への協力と森林土地所有者届出の受理				
執行体制	<input checked="" type="checkbox"/> 町職員実施 <input type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
	単位	平成25年度 (決算)	平成26年度 (決算見込)	平成27年度 (予算)	
事業費	直接事業費 (a)	千円	49	49	53
	国庫支出金	千円			
	県支出金	千円			
	起債	千円			
	その他	千円			
	一般財源	千円	49	49	53
	職員人数 (概算職員数)	人	0.15	0.15	0.11
	人件費計 (b)	千円	919	919	657
総事業費 (a)+(b)	千円	968	968	710	
事業費内訳 H 27 年度	消耗品費：5千円、神奈川県森林協会負担金：48千円				

3.指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	25年度 (実績値)	26年度 (実績値)	27年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	①	しいたけ栽培農家	戸	3	3
	②				
活動指標 (活動量)	①	しいたけ栽培農家	戸	3	3
	②				
成果指標 (達成度等)	①	しいたけ栽培農家	戸	3	3
	②				

4.事務事業の評価

妥当性	・実施主体は妥当か	理由	<input type="checkbox"/> 妥当 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他 しいたけ農家への技術支援及び森林法にかかる事務のためおおむね妥当と考えている。
	・実施手段は妥当か	理由	<input type="checkbox"/> 妥当 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他 しいたけ農家への技術支援及び森林法にかかる事務のためおおむね妥当と考えている。
成果	・意図した成果が得られているか	理由	<input type="checkbox"/> 得られている <input checked="" type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他 森林所有者届出受理の実績から、成果は概ね得られていると考えている。
	・コストに対して効率的か	理由	<input type="checkbox"/> 効率的 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他 森林所有者届出受理の実績から、成果は概ね得られていると考えている。
効率性	・コストの削減等を図ったか	理由	<input type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input type="checkbox"/> 図る余地は無い <input checked="" type="checkbox"/> その他 事業内容から事務経費や補助金が主となっているため。
	担当課による評価	<input type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）	評価理由 実質的な林業が行われていない状況であるが、林産物であるしいたけ栽培について支援して行く必要がある。

5.改革・改善の方向性

① 課題点や改善点	なし
② 平成27年度に着手する事項	なし
③ 平成28年度に着手する事項	林道の適切維持管理に努めるとともに、しいたけ農家へ技術支援を検討する。

6.平成28年度事業への取組み状況（改善内容等）

記入日	平成28年2月26日
-----	------------

林道の適切維持管理に努めるとともに、しいたけ農家へ技術支援を検討する。

予算事業名	漁業振興運営事業	シート作成日	平成27年8月28日
		担当課名	産業観光課
細分事業名	—	係名	産業振興係
		事業番号	15
		事業開始年度	—

1.総合計画上の位置づけ

章	第5章 個性と魅力と活力のあるまちづくり	総合計画実施計画	
項	第3項 活力と個性あふれる産業の振興	認定番号	—
節	第3節 商工業	事業名	—

2.事業の概要

根拠法令・条例等	—				
個別計画等	—				
行革大綱実施計画事業 (細目コード・事業名)	—				
目的 (何のために)	漁業振興を図ることと大磯で水揚げされた水産物の消費の拡大				
対象 (誰を・何を)	漁業者				
内容	漁業振興を図ることと地場産の水産物の消費を拡大するため、朝市等の開催の支援を行う				
執行体制	<input checked="" type="checkbox"/> 町職員実施 <input type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
事業費	直接事業費 (a)	単位	平成25年度 (決算)	平成26年度 (決算見込)	平成27年度 (予算)
	国庫支出金	千円	747	793	1,014
	県支出金	千円			
	起債	千円			
	その他	千円			
	一般財源	千円	747	793	1,014
	職員人数 (概算職員数)	人	0.23	0.23	0.32
	人件費計 (b)	千円	1,409	1,409	1,910
	総事業費 (a)+(b)	千円	2,156	2,202	2,924
事業費内訳 H 27 年度	旅費：2千円、消耗品費：92千円、手数料：27千円、漁船借上料：20千円、県漁業協同組合連合会負担金：70千円、相模湾地域遊漁・海面利用協議会負担金：15千円、県水産促進協議会負担金：15千円。目地漁業協同組合漁業振興対策交付金：130千円、漁業共済事業費補助金：394千円、漁業近代化資金等利子補給事業費負担金：249千円				

3.指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	25年度 (実績値)	26年度 (実績値)	27年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 漁業者	人	35	35	35
	②				
活動指標 (活動量)	① 朝市開催回数	回	12	12	12
	②				
成果指標 (達成度等)	① 朝市開催回数	回	12	12	12
	②				

4.事務事業の評価

妥当性	・実施主体は妥当か	理由	<input type="checkbox"/> 妥当 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他 漁業者の取りまとめ団体である漁協と協調して進める事業であり妥当であると考えている。
	・実施手段は妥当か	理由	<input type="checkbox"/> 妥当 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他 漁業者の取りまとめ団体である漁協と協調して進める事業であり妥当であると考えている。
成果	・意図した成果が得られているか	理由	<input type="checkbox"/> 得られている <input checked="" type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他 漁業者への支援、朝市等における消費拡大の啓発を行っており、実績から成果はおおむね上がっていると考えている。
	・コストに対して効率的か	理由	<input type="checkbox"/> 効率的 <input type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input checked="" type="checkbox"/> その他 事業内容から、事務経費や補助金が主であるため。
効率性	・コストの削減等を図ったか	理由	<input type="checkbox"/> 効率的 <input type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input checked="" type="checkbox"/> その他 事業内容から、事務経費や補助金が主であるため。
	担当課による評価		<input type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）
			評価理由 漁業協同組合への補助事業などを実施しているが、漁協組合員の減少・老朽化対策や老朽化している漁協施設の建て替えなどの問題に対応する必要がある。

5.改革・改善の方向性

① 課題点や改善点	漁業協同組合と連絡を密にし、賑わい交流施設としての今後の施設のありかた等についても一緒に検証する。
② 平成27年度に着手する事項	大磯町漁協と二宮町漁協の合併推進協議会への参加 賑わい交流施設の検討
③ 平成28年度に着手する事項	賑わい交流施設の整備に向けた調査を実施する。

6.平成28年度事業への取組み状況（改善内容等）

記入日 平成28年2月26日

漁業振興を図るため、漁業関係者との話し合いを行うとともに、合併協議会へ参加する。また、大磯港の活性化に向け、賑わい交流施設の整備を含めたみなとオアシス整備基本構想策定事業を実施する。

予算事業名	商工業振興推進事業	シート作成日	平成27年8月28日
		担当課名	産業観光課
細分事業名	—	係名	観光振興係
		事業番号	16
		事業開始年度	—

1.総合計画上の位置づけ

章	第5章 個性と魅力と活力のあるまちづくり	総合計画実施計画	
項	第3項 活力と個性あふれる産業の振興	認定番号	—
節	第3節 商工業	事業名	—

2.事業の概要

根拠法令・条例等	商工会法				
個別計画等	—				
行革大綱実施計画事業 (細目コード・事業名)	—				
目的 (何のために)	商工業の活性化及び町内での消費の拡大				
対象 (誰を・何を)	町内商工業者				
内容	町内商工業者の経営の改善に関する相談とその指導、地域内経済振興をはかるための諸活動及び社会一般の福祉の増進に資することを目的として、商工会法に基づき設立された大磯町商工会の運営補助を通じ、地域活性化を図る				
執行体制	<input checked="" type="checkbox"/> 町職員実施 <input type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
事業費	直接事業費 (a)	単位	平成25年度 (決算)	平成26年度 (決算見込)	平成27年度 (予算)
	国庫支出金	千円	6,204	6,204	6,211
	県支出金	千円			
	起債	千円			
	その他	千円			
	一般財源	千円	6,204	6,204	6,211
	職員人数 (概算職員数)	人	0.18	0.18	0.10
	人件費計 (b)	千円	1,103	1,103	597
	総事業費 (a)+(b)	千円	7,307	7,307	6,808
事業費内訳 H 27 年度	消耗品費：11千円、町商工会事業補助金：6,200千円				

3.指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	25年度 (実績値)	26年度 (実績値)	27年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 事業所数	所	1,200	1,200	1,200
	②				
活動指標 (活動量)	① 商工会会員数	所	650	650	650
	②				
成果指標 (達成度等)	① 加入率	%	53	53	53
	②				

4.事務事業の評価

妥当性	<input type="checkbox"/> 妥当 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他	理由	町内事業者に対する支援を地域経済団体である商工会とともに実施しており、妥当と考える。
	<input type="checkbox"/> 妥当 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他	理由	事業者への税務指導、経営指導等を指導ノウハウを持つ商工会により実施している。
成果	<input type="checkbox"/> 得られている <input checked="" type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他	理由	事業者への各種指導等が行われており、一定の効果が得られている。
	<input type="checkbox"/> 効率的 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他	理由	商工会との連携により、事業者に対する専門的な相談・指導が効率的に行われている。
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他	理由	商工会との連携により、事業者に対する専門的な相談・指導が効率的に行われている。
	<input type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）	評価理由	地域の事業者の支援や創業者支援に向け、商工会及び関係機関との連携をさらに図っていく。
担当課による 評価			

5.改革・改善の方向性

① 課題点や改善点	今後、地域経済活動の保持・増進に向けて、新たな商工業者支援策を商工会と連携して実施していく必要がある。
② 平成27年度に着手する事項	なし
③ 平成28年度に着手する事項	新規創業者支援・既存事業者支援のための新たな施策実施に向け、商工会との連携強化を図る。

6.平成28年度事業への取組み状況（改善内容等）

記入日 平成28年2月26日

商工会との連携強化を継続するとともに、金融機関及び関係機関との協働により、創業支援に対する総合的な体制づくりや既存事業者に対する支援施策について検討を行う。

予算事業名	中小企業金融対策資金預託事業	シート作成日	平成27年8月28日
		担当課名	産業観光課
細分事業名	—	係名	観光振興係
		事業番号	17
		事業開始年度	—

1.総合計画上の位置づけ

章	第5章 個性と魅力と活力のあるまちづくり	総合計画実施計画	
項	第3項 活力と個性あふれる産業の振興	認定番号	—
節	第3節 商工業	事業名	—

2.事業の概要

根拠法令・条例等	大磯町中小企業金融対策預託要綱				
個別計画等	—				
行革大綱実施計画事業 (細目コード・事業名)	—				
目的 (何のために)	経営の健全化と経営基盤の確立				
対象 (誰を・何を)	町内の事業者を有する中小企業者				
内容	制度資金を円滑に運用するため、融資を取り扱う金融機関に対して預託を行う				
執行体制	<input checked="" type="checkbox"/> 町職員実施 <input type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
事業費	直接事業費 (a)	単位	平成25年度 (決算)	平成26年度 (決算見込)	平成27年度 (予算)
	国庫支出金	千円	20,000	20,000	20,000
	県支出金	千円			
	起債	千円			
	その他	千円	20,000	20,000	20,000
	一般財源	千円			
	職員人数 (概算職員数)	人	0.02	0.02	0.08
	人件費計 (b)	千円	123	123	478
	総事業費 (a)+(b)	千円	20,123	20,123	20,478
事業費内訳 H 27 年度	中小企業金融対策資金預託金：20,000千円				

3.指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	25年度 (実績値)	26年度 (実績値)	27年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 町内金融機関数	店舗	2	2	2
	②				
活動指標 (活動量)	① 預託金額	千円	20,000	20,000	20,000
	②				
成果指標 (達成度等)	① 融資額	千円	7,020	31,320	40,000
	②				

4.事務事業の評価

妥当性	<input type="checkbox"/> 妥当 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他	理由	町内中小企業者を対象とした支援であり、おおむね妥当である。
	<input type="checkbox"/> 妥当 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他	理由	預託により、融資を専門とする金融機関から町内中小企業者に対する貸付が行われているため。
成果	<input type="checkbox"/> 得られている <input checked="" type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他	理由	預託した額を超える貸付状況となっており、おおむね成果が得られている。
	<input type="checkbox"/> 効率的 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他	理由	金融機関により融資が行われており、効率的である。
効率性	<input type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input type="checkbox"/> 図る余地は無い <input checked="" type="checkbox"/> その他	理由	預託金の支出のため
	<input type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）	評価理由	制度の活用に向けた周知等の取組みが必要。
担当課による 評価			

5.改革・改善の方向性

① 課題点や改善点	制度の周知や貸付利率の見直しなど、積極的な活用が図られるような対策が必要である。
② 平成27年度に着手する事項	広報・町ホームページ等により制度のPRを行う。
③ 平成28年度に着手する事項	PRや貸付利率の見直しなど、積極的な活用が図られるような取組みを検討する。

6.平成28年度事業への取組み状況（改善内容等）

記入日 平成28年2月23日

積極的な活用が図られるよう広報、町ホームページ等によるPRや商工会等を通じた事業者への周知を行う。また、貸付利率の見直しなど今後の活用に向けた検討を行う。

予算事業名	商工業活性化対策事業	シート作成日	平成27年8月28日
		担当課名	産業観光課
細分事業名	—	係名	観光振興係
		事業番号	18
		事業開始年度	—

1.総合計画上の位置づけ

章	第5章 個性と魅力と活力のあるまちづくり	総合計画実施計画	
項	第3項 活力と個性あふれる産業の振興	認定番号	—
節	第3節 商工業	事業名	—

2.事業の概要

根拠法令・条例等	大磯町中小企業金融対策資金利子補給要綱、中小企業信用保証料補助要綱				
個別計画等	—				
行革大綱実施計画事業 (細目コード・事業名)	—				
目的 (何のために)	町内の事業者を有する中小企業者の負担軽減やその従業員の福祉の向上と雇用の安定				
対象 (誰を・何を)	町内の事業者を有する中小企業者とその従業員				
内容	①小規模企業資金の融資にかかる保証料の一部を補助する ②町内中小企業者が、大磯町中小企業融資資金の貸付を受け、その借入金から発生する利息の一部について利子補給を行う ③中小企業退職共済制度を奨励し、中小企業者が締結した退職金共済掛金の一部の補助を行う ④町内において企業等を行うものが融資を受けた場合、負担軽減のために利子の一部を補助する				
執行体制	<input checked="" type="checkbox"/> 町職員実施 <input type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
	単位	平成25年度 (決算)	平成26年度 (決算見込)	平成27年度 (予算)	
事業費	直接事業費 (a)	千円	2,700	2,869	4,418
	国庫支出金	千円			
	県支出金	千円			
	起債	千円			
	その他	千円			
	一般財源	千円	2,700	2,869	4,418
	職員人数(概算職員数)	人	0.09	0.09	0.08
	人件費計 (b)	千円	552	552	478
総事業費 (a)+(b)	千円	3,252	3,421	4,896	
事業費内訳 H 27 年度	中小企業信用保証料補助金：3,163千円、中小企業金融対策資金利子補給事業補助金：162千円、 中小企業退職共済制度奨励事業補助金：993千円、町内創業者支援利子補給補助金：100千円				

3.指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	25年度 (実績値)	26年度 (実績値)	27年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 商工会加入者	所	656	653	653
	② 従業員数	人	10,900	10,900	10,900
活動指標 (活動量)	① 保証料補助金	件	27	30	30
	② 利子補給事業補助金	件	11	13	13
	③ 退職共済制度奨励補助金	件	25	30	30
	④ 町内創業者支援利子補給事業補助金	件	3	5	5
成果指標 (達成度等)	① 保証料補助金	千円	1,830	2,800	2,800
	② 利子補給事業補助金	千円	40	154	154
	③ 退職共済制度奨励補助金	千円	808	1,034	1,034
	④ 町内創業者支援利子補給事業補助金	千円	22	164	164

4.事務事業の評価

妥当性	<input type="checkbox"/> 妥当 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他	理由	町内の中小企業者、その従業員に対する支援でありおおむね妥当である。
	<input type="checkbox"/> 妥当 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他	理由	金融機関の融資と連動した支援であり、実施手段はおおむね妥当であると考えます。
成果	<input type="checkbox"/> 得られている <input checked="" type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他	理由	実績状況から、一定の効果が得られている。今後、更にPRにより利用者の掘り起こしを行っていく。
	<input type="checkbox"/> 効率的 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他	理由	金融機関を通しての実施であり、おおむね効率的に運用できている。
効率性	<input type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input type="checkbox"/> 図る余地は無い <input checked="" type="checkbox"/> その他	理由	補助金が主なものとなっている。
	<input type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）		評価理由 中小企業の事業拡大、従業員の福祉の向上等に効果につながっている。今後は、PRや新たな支援策の検討が必要。
担当課による評価			

5.改革・改善の方向性

① 課題点や改善点	制度の周知や新たな支援策の検討が必要である。
② 平成27年度に着手する事項	広報・町ホームページ等により制度のPRを行う。
③ 平成28年度に着手する事項	制度のPRとともに、創業支援・既存事業者支援のための新たな施策の検討を行う。

6.平成28年度事業への取組み状況（改善内容等）

記入日

平成28年2月23日

積極的な活用が図られるよう広報、町ホームページ等によるPRや商工会等を通じた事業者への周知を行う。また、商工会及び関係機関との連携により、事業者に対する総合的な支援のあり方について検討を行う。

予算事業名	観光振興対策事業	シート作成日	平成27年8月28日
		担当課名	産業観光課
細分事業名	—	係名	観光振興係
		事業番号	19
		事業開始年度	—

1.総合計画上の位置づけ

章	第 5 章 個性と魅力と活力のあるまちづくり	総合計画実施計画	
項	第 4 項 資源を生かした特色ある観光の推進	認定番号	—
節	第 1 節 観光	事業名	—

2.事業の概要

根拠法令・条例等	—				
個別計画等	—				
行革大綱実施計画事業 (細目コード・事業名)	—				
目的 (何のために)	観光客数の増加				
対象 (誰を・何を)	観光客				
内容	観光協会をはじめとする関係団体や周辺自治体等との連携によるPR活動や、観光協会等が実施する集客事業の支援などの観光誘客を行い、観光行政の推進を図る。				
執行体制	<input checked="" type="checkbox"/> 町職員実施 <input type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
	単位	平成25年度 (決算)	平成26年度 (決算見込)	平成27年度 (予算)	
事業費	直接事業費 (a)	千円	15,369	18,940	20,578
	国庫支出金	千円			
	県支出金	千円	864	704	
	起債	千円			
	その他	千円		69	
	一般財源	千円	14,505	18,167	20,578
	職員人数 (概算職員数)	人	2.00	2.53	0.45
	人件費計 (b)	千円	9,822	12,267	2,686
総事業費 (a)+(b)	千円	25,191	31,207	23,264	
事業費内訳 H 27 年度	普通旅費：30千円 消耗品費：222千円 印刷製本費：222千円、事業委託料：250千円、管理委託料：3,014千円、県観光協会負担金：30千円、県観光振興対策協議会負担金：130千円、湘南地区観光振興協議会負担金：145千円、町観光協会事業補助金：11,535千円、なぎさの祭典交付金：5,000千円				

3.指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	25年度 (実績値)	26年度 (実績値)	27年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 観光客数	千人	871	858	1,000
	②				
活動指標 (活動量)	① 事業費	千円	15,369	18,940	20,578
	②				
成果指標 (達成度等)	① 観光客数	千人	871	858	1,000
	②				

4.事務事業の評価

妥当性	<input type="checkbox"/> 妥当 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他
	理由 ・実施主体は妥当か 町の観光誘客事業については、町観光協会が主体となって実施しており、町がそれを支援する体制で連携を図り事業振興を行っている。
妥当性	<input type="checkbox"/> 妥当 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他
	理由 ・実施手段は妥当か おおむね妥当であるが、さらに観光協会の自立及び積極的な観光誘客への取り組みについて助言・連携を図る。
成果	<input type="checkbox"/> 得られている <input checked="" type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他
	理由 ・意図した成果が得られているか 観光協会が主催した事業はほぼ例年の集客をしている。また、キャラクターを使った集客キャンペーンについては、平成26年度に新たに着ぐるみを追加し、各イベント等でPRするなど、効果をあげている。 平成26年度は、合併60周年記念行事として、試行的にウォークラリーを実施した。
効率性	<input type="checkbox"/> 効率的 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率的 <input type="checkbox"/> その他
	理由 ・コストに対して効率的か 観光協会との連携を図り、PR・誘客活動に向けた効率的な執行に努めている。
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他
	理由 ・コストの削減等を図ったか 観光協会との連携を図り、PR・誘客活動に向けた効率的な執行に努めている。
担当課による評価	<input type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）
評価理由 引き続き、新たな観光の核づくりの提案3団体である町観光協会・商工会・町との連携により、更なる観光集客を図り、地域振興に結びつく方策を考えていきたい。	

5.改革・改善の方向性

① 課題点や改善点	観光協会との連携により、誘客事業やPRにさらに取り組む必要がある。
② 平成27年度に着手する事項	観光協会との連携強化を図り、観光ナビアプリ開発などに取り組む。
③ 平成28年度に着手する事項	観光協会との連携により、現在開発中の観光ナビアプリを活用したイベントや誘客PRなどに取り組む。

6.平成28年度事業への取り組み状況（改善内容等）

記入日 平成28年2月23日

町観光協会との連携強化により町のPRと誘客促進を図るため、平成27年度に導入した観光ナビアプリと連動した写真撮影会やまち歩きイベントを実施する。

予算事業名	海水浴場振興事業	シート作成日	平成27年8月28日
		担当課名	産業観光課
細分事業名	—	係名	観光振興係
		事業番号	20
		事業開始年度	—

1.総合計画上の位置づけ

章	第5章 個性と魅力と活力のあるまちづくり	総合計画実施計画	
項	第4項 資源を生かした特色ある観光の推進	認定番号	—
節	第1節 観光	事業名	—

2.事業の概要

根拠法令・条例等	神奈川県海水浴場等に関する条例及び施行規則、大磯町美しいまちづくり条例及び施行規則、大磯海水浴場の管理及び運営に関する要綱、大磯海水浴場ルール				
個別計画等	—				
行革大綱実施計画事業 (細目コード・事業名)	1-1-12 海水浴場振興事業見直し				
目的 (何のために)	海水浴場が安全で快適に遊泳できるように管理運営を行う。				
対象 (誰を・何を)	海水浴場利用者				
内容	海水浴場の開設準備として、海浜の整地、エリア区域のブイ設置、監視所・シャワー・放送・トイレ等の施設設置を行う。開設後の海水浴場利用者の安全を確保するため、監視業務を行う。				
執行体制	<input type="checkbox"/> 町職員実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
事業費	直接事業費 (a)	単位	平成25年度 (決算)	平成26年度 (決算見込)	平成27年度 (予算)
	国庫支出金	千円	13,855	16,736	18,282
	県支出金	千円			
	起債	千円			
	その他	千円			
	一般財源	千円	13,855	16,736	18,282
	職員人数 (概算職員数)	人	0.13	0.22	0.37
	人件費計 (b)	千円	797	1,348	2,209
	総事業費 (a)+(b)	千円	14,652	18,084	20,491
事業費内訳	普通旅費：2千円、消耗品費：132千円、燃料費：14千円、食糧費：23千円、印刷製本費：50千円、光熱水費：390千円、修繕料：100千円、通信運搬費：25千円、手数料：1,254千円、火災保険料：3千円、事業委託料：596千円、監視委託料：9,635千円、ゴミ収集・運搬委託料：863千円、公衆便所等清掃委託料：990千円、砂浜整地委託料：700千円、遊泳区域表示設備設置・撤去委託料：1,221千円、海水浴場施設借上料：2,284千円				
H 27 年度					

3.指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	25年度 (実績値)	26年度 (実績値)	27年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 海水浴場来場者数	千人	86	116	88
	②				
活動指標 (活動量)	① 海水浴場開設日数	日	57	57	57
	②				
成果指標 (達成度等)	① 海水浴場来場者数	千人	86	116	88
	②				

4.事務事業の評価

妥当性	<input type="checkbox"/> 妥当 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他
	理由 他の海水浴場では、観光協会、茶屋組合などが運営しているところもあるが、利用者の安全・安心の観点から、町が海水浴場開設者と考える。
妥当性	<input type="checkbox"/> 妥当 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他
	理由 監視業務を専門的なノウハウを持つ業者に委託し、来場者の安全確保を図っている。
成果	<input type="checkbox"/> 得られている <input checked="" type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他
	理由 平成26年度の利用者数は、前年比増となった（平成27年度は、前年比減となっている）。全体的には増減を繰り返しつつ横ばいの状況であるが、海水浴場発祥の地としておおむね成果は得られている。
効率性	<input type="checkbox"/> 効率的 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他
	理由 来場者の安全確保を図るとともに、効率的な執行に努めている。
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他
	理由 来場者の安全確保を図るとともに、効率的な執行に努めている。
担当課による 評価	<input type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）
評価理由 海水浴場のPRや新たな取り組みなどを行い、誘客を図っていく。	

5.改革・改善の方向性

① 課題点や改善点 安全で誰もが楽しめる海水浴場を目指すとともに、広い砂浜を活用し、ビーチテニスコート開設といった新事業の実施やPR活動を行い、通年型の誘客にもつなげていく。 また、近隣住民や周辺地域への迷惑防止対策として、大磯海水浴場ルールの改正やパトロールの強化等を図っていく。
② 平成27年度に着手する事項 平成26年度に実施したビーチテニスコートの常設を引き続き行い、海水浴場における広い砂浜の活用やスポーツ性を取り込んだ誘客を図る。また、安全で安心な海水浴場とするため、関係機関とも連携し大磯海水浴場ルールの改正やパトロールを実施した。
③ 平成28年度に着手する事項 引き続き、ビーチテニスコートの常設設置を行い、さらにスポーツ性を取り込んだ誘客についてのPRを図る。また、県下の海水浴場のルール強化や近隣住民や周辺地域への迷惑防止対策として、大磯海水浴場ルールの運用方法やパトロールの強化を図る。

6.平成28年度事業への取組み状況（改善内容等）

記入日 平成28年2月26日

「誰もが快適に安全・安心して利用できる海水浴場」を目指し、関係機関と連携し、大磯海水浴場ルールの適正な運用とパトロールにより近隣住民や周辺地域への迷惑防止対策に取り組む。
 また、県下全域の取組みとなる過度なアルコール摂取や刺青・タトゥーの露出制限についての対策を図る。
 ビーチテニスコートの常設を引き続き行い、大磯海水浴場における誘客ツールとしての定着を図る。

予算事業名	観光施設管理運営事業	シート作成日	平成27年8月28日
		担当課名	産業観光課
細分事業名	—	係名	観光振興係
		事業番号	21
		事業開始年度	—

1.総合計画上の位置づけ

章	第5章 個性と魅力と活力のあるまちづくり	総合計画実施計画	
項	第4項 資源を生かした特色ある観光の推進	認定番号	—
節	第1節 観光	事業名	—

2.事業の概要

根拠法令・条例等	—				
個別計画等	—				
行革大綱実施計画事業 (細目コード・事業名)	—				
目的 (何のために)	観光施設の維持管理及び充実を図る				
対象 (誰を・何を)	観光施設の維持管理及び充実を図る				
内容	駅前ロータリーや公衆トイレなどの施設の維持管理を行うとともに、高麗山及び湘南平ハイキングコース、また、観光案内板などの維持管理を行う				
執行体制	<input type="checkbox"/> 町職員実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
	単位	平成25年度 (決算)	平成26年度 (決算見込)	平成27年度 (予算)	
事業費	直接事業費 (a)	千円	2,416	3,204	4,124
	国庫支出金	千円		207	
	県支出金	千円			
	起債	千円			
	その他	千円		128	
	一般財源	千円	2,416	2,869	4,124
	職員人数 (概算職員数)	人	0.29	0.31	0.42
	人件費計 (b)	千円	1,663	1,785	2,507
総事業費 (a)+(b)	千円	4,079	4,989	6,631	
事業費内訳 H 27 年度	消耗品費：147千円、光熱水費：795千円、修繕料：1,115千円、手数料：425千円、清掃管理委託料：1,642千円				

3.指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	25年度 (実績値)	26年度 (実績値)	27年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① トイレ数	箇所	2	2	2
	②				
活動指標 (活動量)	① トイレ清掃回数	回	584	730	730
	②				
成果指標 (達成度等)	① トイレ清掃回数	回	584	730	730
	②				

4.事務事業の評価

妥当性	<input type="checkbox"/> 妥当 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他	理由	町の観光施設の維持管理であり、おおむね妥当と考える。
	<input type="checkbox"/> 妥当 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他	理由	施設の維持管理については委託で行っている。
成果	<input type="checkbox"/> 得られている <input checked="" type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他	理由	コストの削減を図りつつ、駅前公衆トイレ等の清掃回数を従来の1日1回から1日2回に増加するなど、衛生環境を整えるよう努めている。
	<input type="checkbox"/> 効率的 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他	理由	清潔・安全な管理運営を図るとともに、効率的な執行に努めている。
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他	理由	清潔・安全な管理運営を図るとともに、効率的な執行に努めている。
	<input type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）	評価理由 駅前トイレの清掃については、清掃回数を増加し、衛生環境の向上に努めている。 また、今後、公共トイレ協力店の増加などに取り組む。	

5.改革・改善の方向性

① 課題点や改善点	駅前トイレ・高麗公衆トイレについては、衛生環境向上のため清掃頻度を増加。 来訪者が町内各所で利用できるトイレの数を、既存の施設のトイレの利活用・新設や、協力店制度の導入などにより増やしていく。
② 平成27年度に着手する事項	駅前トイレ・高麗公衆トイレの清掃頻度：1日2回。 駅前トイレの環境整備を行う（換気扇設置、手摺設置など）。 ハイキングコース看板の修繕。
③ 平成28年度に着手する事項	駅前トイレ・高麗公衆トイレの清掃頻度：1日2回。

6.平成28年度事業への取組み状況（改善内容等）

記入日	平成28年2月26日
-----	------------

駅前トイレ・高麗公衆トイレの清掃回数を昨年度同様1日2回とし、清潔な環境保持に努める。また、駅前トイレの環境向上として、外から覗かれにくくするために入口部に扉を設置する。 今後のトイレ環境整備の検討に向け、春・秋の行楽シーズンにおいて富士見地区に試験的に仮設トイレを設置し、利用状況を把握するとともに、来訪者の利便性向上を図る。

予算事業名	大磯西行祭開催事業	シート作成日	平成27年8月28日
		担当課名	産業観光課
細分事業名	—	係名	観光振興係
		事業番号	22
		事業開始年度	—

1.総合計画上の位置づけ

章	第5章 個性と魅力と活力のあるまちづくり	総合計画実施計画	
項	第4項 資源を生かした特色ある観光の推進	認定番号	—
節	第1節 観光	事業名	—

2.事業の概要

根拠法令・条例等	—				
個別計画等	—				
行革大綱実施計画事業 (細目コード・事業名)	—				
目的 (何のために)	歴史的文学の継承と西行祭の円滑な開催				
対象 (誰を・何を)	西行祭				
内容	鳴立庵において西行法師の遺徳を偲ぶとともに、大磯西行祭と称し、一般公募した俳句や短歌の優秀作品を表彰する。				
執行体制	<input checked="" type="checkbox"/> 町職員実施 <input type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
事業費	直接事業費 (a)	単位	平成25年度 (決算)	平成26年度 (決算見込)	平成27年度 (予算)
	国庫支出金	千円	751	760	799
	県支出金	千円			
	起債	千円			
	その他	千円			
	一般財源	千円	751	760	799
	職員人数 (概算職員数)	人	0.21	0.21	0.37
	人件費計 (b)	千円	982	982	2,209
	総事業費 (a)+(b)	千円	1,733	1,742	3,008
事業費内訳 H 27 年度	西行際選者等謝金：552千円、消耗品費：169千円、食糧費：29千円、物品借上料：49千円				

3.指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	25年度 (実績値)	26年度 (実績値)	27年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 一般参加者	人	295	264	199
	②				
活動指標 (活動量)	① 応募点数	点	581	512	397
	②				
成果指標 (達成度等)	① 入賞点数	点	12	12	12
	②				

4.事務事業の評価

妥当性	・実施主体は妥当か	理由	<input type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input checked="" type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他 文化的な要素も強いため、観光事業としての位置づけの検証が必要と思われる。
	・実施手段は妥当か	理由	<input type="checkbox"/> 妥当 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他 全国から応募のあった俳句・短歌に対し、適正な選考を行っている。
成果	・意図した成果が得られているか	理由	<input type="checkbox"/> 得られている <input checked="" type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他 広く全国から俳句・短歌の応募がある。
	・コストに対して効率的か	理由	<input type="checkbox"/> 効率的 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他 応募に際し、郵送・持参に加え電子申請を導入するなど、効率的な運用に努めている。
効率性	・コストの削減等を図ったか	理由	<input checked="" type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他 応募に際し、郵送・持参に加え電子申請を導入するなど、効率的な運用に努めている。
	担当課による評価	<input type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）	
		評価理由 実施主体のあり方、観光の視点等についても検証が必要。	

5.改革・改善の方向性

① 課題点や改善点	実施主体について、教育部局との連携や鳴立庵の施設管理運営と一体的に考える必要がある。
② 平成27年度に着手する事項	なし。
③ 平成28年度に着手する事項	教育部局や指定管理者との連携を図る。

6.平成28年度事業への取組み状況（改善内容等）

記入日 平成28年2月26日

教育部局や指定管理者との連携により文化的な特長を活かした事業の充実を図る。また、平成28年度は、60回の節目の開催となるため、記念誌の発行や西行にゆかりのある山桜の記念植樹などを行事に併せて行う。

予算事業名	旧島崎藤村邸管理事業	シート作成日	平成27年8月28日
		担当課名	産業観光課
細分事業名	—	係名	観光振興係
		事業番号	23
		事業開始年度	—

1.総合計画上の位置づけ

章	第5章 個性と魅力と活力のあるまちづくり	総合計画実施計画	
項	第4項 資源を生かした特色ある観光の推進	認定番号	—
節	第1節 観光	事業名	—

2.事業の概要

根拠法令・条例等	大磯町旧島崎藤村邸の設置、管理等に関する条例及び施行規則				
個別計画等	—				
行革大綱実施計画事業 (細目コード・事業名)	—				
目的 (何のために)	町の観光施設として運営・維持管理を行う。				
対象 (誰を・何を)	旧島崎藤村邸				
内容	文豪島崎藤村が居住していた町屋づくりの邸宅を、観光施設として提供できるように運営・維持管理を行う。				
執行体制	<input type="checkbox"/> 町職員実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
	単位	平成25年度 (決算)	平成26年度 (決算見込)	平成27年度 (予算)	
事業費	直接事業費 (a)	千円	4,108	4,113	3,857
	国庫支出金	千円			
	県支出金	千円			
	起債	千円			
	その他	千円			
	一般財源	千円	4,108	4,113	3,857
	職員人数 (概算職員数)	人	0.09	0.09	0.39
	人件費計 (b)	千円	513	513	2,328
総事業費 (a)+(b)	千円	4,621	4,626	6,185	
事業費内訳 H 27 年度	旧島崎藤村邸管理嘱託員報酬：360千円、消耗品費：19千円、印刷製本費：114千円、光熱水費：446千円、修繕料：300千円、通信運搬費：40千円、各種保守委託料：270千円、運営委託料：2,308千円				

3.指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	25年度 (実績値)	26年度 (実績値)	27年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 来場者	人	12,026	11,239	12,000
	②				
活動指標 (活動量)	① 施設開場日数	日	316	316	315
	②				
成果指標 (達成度等)	① 来場者	人	12,026	11,239	12,000
	②				

4.事務事業の評価

妥当性	<input type="checkbox"/> 妥当 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他	理由	町の観光施設の管理運営であり、おおむね妥当と考える。
	<input type="checkbox"/> 妥当 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他	理由	施設の管理運営については、受付や消防設備など業務ごとに委託を行っている。
成果	<input type="checkbox"/> 得られている <input checked="" type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他	理由	観光施設としては駐車場等アクセスの問題はあるが、実績からおおむね良好である。
	<input type="checkbox"/> 効率的 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他	理由	施設が老朽化しており修繕等が必要な部分が出ている中、緊急度の高い内容を優先した効率的な執行に努め、施設の維持管理を行っている。
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他	理由	施設が老朽化しており修繕等が必要な部分が出ている中、緊急度の高い内容を優先した効率的な執行に努め、施設の維持管理を行っている。
	<input type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）	評価理由	施設の老朽化による修繕が必要となっている。
担当課による 評価			

5.改革・改善の方向性

① 課題点や改善点	施設見学の有料化、邸宅内への出入り、施設の特徴を活かした文化的な活用方策などについて検討。
② 平成27年度に着手する事項	教育部局と、今後の施設の管理運営のあり方について協議を進める。
③ 平成28年度に着手する事項	嶋立庵の指定管理の状況を事例として、教育部局とともに今後の利活用について検討を進める。

6.平成28年度事業への取組み状況（改善内容等）

記入日 平成28年2月26日

施設の効率的な維持管理を行うとともに、施設の安全管理面の強化のため、機械警備の導入を行う。また、今後の活用に向け、邸宅内に入りやすさのための法的課題整理、施設の文化的側面を活かした利活用、展示スペースとしての活用の可能性、指定管理者による管理運営に移行した嶋立庵との連携などについて、生涯学習課とともに検討を進める。

予算事業名	鳴立庵管理事業	シート作成日	平成27年8月28日
		担当課名	産業観光課
細分事業名	—	係名	観光振興係
		事業番号	24
		事業開始年度	—

1.総合計画上の位置づけ

章	第5章 個性と魅力と活力のあるまちづくり	総合計画実施計画	
項	第4項 資源を生かした特色ある観光の推進	認定番号	—
節	第1節 観光	事業名	—

2.事業の概要

根拠法令・条例等	鳴立庵の設置、管理等に関する条例及び施行規則				
個別計画等	—				
行革大綱実施計画事業 (細目コード・事業名)	—				
目的 (何のために)	町の観光施設として運営・維持管理を行う。				
対象 (誰を・何を)	鳴立庵				
24	京都の落柿舎(らくししゃ)、滋賀の無名庵(むみょうあん)とともに、日本三大俳諧道場の一つといわれる鳴立庵を、観光施設として提供できるように管理運営を行う。				
執行体制	<input type="checkbox"/> 町職員実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
	単位	平成25年度 (決算)	平成26年度 (決算見込)	平成27年度 (予算)	
事業費	直接事業費 (a)	千円	8,452	8,530	9,363
	国庫支出金	千円			
	県支出金	千円			
	起債	千円			
	その他	千円	1,024	991	1,072
	一般財源	千円	7,428	7,539	8,291
	職員人数(概算職員数)	人	0.11	0.11	0.53
	人件費計 (b)	千円	560	560	3,164
総事業費 (a)+(b)	千円	9,012	9,090	12,527	
事業費内訳 H 27 年度	消耗品費：150千円、印刷製本費：370千円、光熱水費：425千円、修繕料：250千円、通信運搬費：40千円、手数料：38千円、管理委託料：994千円、各種保守委託料：652千円、運営委託料：5,275千円、敷地借上料：1,085千円、庁用器具購入費：84千円				

3.指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	25年度 (実績値)	26年度 (実績値)	27年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 来場者数	人	10,434	10,420	10,700
	②				
活動指標 (活動量)	① 施設開場日数	日	359	359	360
	②				
成果指標 (達成度等)	① 来場者数	人	10,434	10,420	10,700
	② 入場料	千円	1,024	991	950

4.事務事業の評価

妥当性	<input type="checkbox"/> 妥当 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他	理由	指定管理者制度を導入し、文化的な価値を活かしつつ、観光面での活用も図る。
	<input type="checkbox"/> 妥当 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他	理由	施設の管理運営については、業務ごとに委託を行っている。全体の管理運営について、現在指定管理者の候補者を募集中。
成果	<input type="checkbox"/> 得られている <input checked="" type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他	理由	おおむね良好であるが、施設の文化的な側面を活かした更なる利活用に努める。
	<input type="checkbox"/> 効率的 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他	理由	民間事業者の知識・経験を活かし、より効率的かつ施設の文化的な側面を活かした活用を図るため、指定管理者の募集を行っている。
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他	理由	民間事業者の知識・経験を活かし、より効率的かつ施設の文化的な側面を活かした活用を図るため、指定管理者の募集を行っている。
	<input type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）	担当課による評価	評価理由 昨年度末に条例改正を行い、現在、指定管理者制度の導入に向け、候補者を募集中。今後、施設の文化的な価値を活かしつつ利活用を図っていく。

5.改革・改善の方向性

① 課題点や改善点	施設の持つ文化的な特長を活かし、より多くの方の来訪・利用を図るため、施設の管理者による自主的な事業運営、利活用方策の検討と実施を行うことが出来るよう、現在、指定管理者の候補者を募集中。
② 平成27年度に着手する事項	指定管理者の候補者を募集中。候補者選定の後、12月議会を目標として、指定管理者の指定議案を提案していく。
③ 平成28年度に着手する事項	指定管理者に管理運営を移行していく。

6.平成28年度事業への取組み状況（改善内容等）

記入日 平成28年2月26日

指定管理者との連携及び関係機関・団体と指定管理者との連携調整を密に行い、施設の特長を活かした利活用の促進を図る。
--

予算事業名	町営照ヶ崎プール管理運営事業	シート作成日	平成27年8月28日
		担当課名	産業観光課
細分事業名	—	係名	観光振興係
		事業番号	25
		事業開始年度	—

1.総合計画上の位置づけ

章	第5章 個性と魅力と活力のあるまちづくり	総合計画実施計画	
項	第4項 資源を生かした特色ある観光の推進	認定番号	—
節	第1節 観光	事業名	—

2.事業の概要

根拠法令・条例等	大磯町町営プールの設置、管理等に関する条例及び施行規則				
個別計画等	—				
行革大綱実施計画事業 (細目コード・事業名)	—				
目的 (何のために)	利用者の施設安全利用及び快適な施設利用				
対象 (誰を・何を)	町営照ヶ崎プール				
内容	日本最初の海水浴場である照ヶ崎海岸に隣接する照ヶ崎プールを7月から8月の2ヶ月間、観光施設として町民や来訪者が安全に施設を利用できるように管理運営を行う。				
執行体制	<input type="checkbox"/> 町職員実施 <input type="checkbox"/> 一部委託あり <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
事業費	直接事業費 (a)	単位	平成25年度 (決算)	平成26年度 (決算見込)	平成27年度 (予算)
	国庫支出金	千円	12,446	16,458	15,502
	県支出金	千円			
	起債	千円			
	その他	千円	2,328	2,079	2,020
	一般財源	千円	10,118	14,379	13,482
	職員人数 (概算職員数)	人	0.10	0.10	0.24
	人件費計 (b)	千円	613	613	1,433
	総事業費 (a)+(b)	千円	13,059	17,071	16,935
事業費内訳 H 27 年度	消耗品費：632千円、燃料費：142千円、印刷製本費：70千円、光熱水費：3,452千円、修繕料：1,700千円、通信運搬費：85千円、手数料：140千円、傷害保険料：545千円、清掃手数料：550千円、監視業務委託料：6,016千円、保守点検委託料：1,500千円、物品借上料：596千円、庁用器具購入費：74千円				

3.指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	25年度 (実績値)	26年度 (実績値)	27年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 入場者数	人	18,566	15,450	16,853
	②				
活動指標 (活動量)	① プール開設日数	日	50	44	45
	②				
成果指標 (達成度等)	① 入場者数	人	18,566	15,450	16,853
	② 入場料収入	千円	2,328	2,079	2,383

4.事務事業の評価

妥当性	<input type="checkbox"/> 妥当 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他	
	・実施主体は妥当か 理由 町の施設の管理運営であるため、おおむね妥当と考える。	
妥当性	<input type="checkbox"/> 妥当 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他	
	・実施手段は妥当か 理由 監視業務を専門的なノウハウを持つ業者に委託し、利用者の安全確保を図っている。	
成果	<input type="checkbox"/> 得られている <input checked="" type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他	
	・意図した成果が得られているか 理由 多くの方に、安全で健康な施設として利用されている。	
効率性	<input type="checkbox"/> 効率的 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他	
	・コストに対して効率的か 理由 来場者の安全確保を図るとともに、効率的な執行に努めている。	
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他	
	・コストの削減等を図ったか 理由 来場者の安全確保を図るとともに、効率的な執行に努めている。	
担当課による評価	<input type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）	評価理由 プールだけでなく、通年開放施設として温水シャワー、更衣室、サイクルポート等を設け、幅広い利用ニーズに対応できるようにした。

5.改革・改善の方向性

① 課題点や改善点
通年開放施設としてリニューアルオープンした。利用者の増加に向けて、スポーツ・レジャーの活用拠点としての施設の利活用を図る。
② 平成27年度に着手する事項
通年開放を開始するとともに、レンタサイクルも施行運用を始めた。今後、トライアスロン、サイクリスト、スイマーなどのトレーニング拠点としての活用等を検討する。
③ 平成28年度に着手する事項
上記のようなアスリートの活用拠点化や、レンタサイクル事業の活性化により、幅広い層の利用を目指す。

6.平成28年度事業への取組み状況（改善内容等）

記入日 平成28年2月26日

港からの観光・周遊拠点としての活用やスポーツ・レジャーの活用拠点としての施設の利活用を図るため、指定管理者制度の導入に取り組む。
--

予算事業名	新たな観光の核づくり推進事業	シート作成日	平成27年8月28日
		担当課名	産業観光課
細分事業名	—	係名	観光振興係
		事業番号	26
		事業開始年度	平成25年度

1.総合計画上の位置づけ

章	第5章 個性と魅力と活力のあるまちづくり	総合計画実施計画	
項	第4項 資源を生かした特色ある観光の推進	認定番号	—
節	第1節 観光	事業名	—

2.事業の概要

根拠法令・条例等	—				
個別計画等	新たな観光の核づくり基本計画				
行革大綱実施計画事業 (細目コード・事業名)	—				
目的 (何のために)	観光客数の増加				
対象 (誰を・何を)	観光客				
内容	新たな観光の核づくり事業の進捗により、大磯への交流人口の増加を目指す。				
執行体制	<input type="checkbox"/> 町職員実施 <input type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> その他				
	単位	平成25年度 (決算)	平成26年度 (決算見込)	平成27年度 (予算)	
事業費	直接事業費 (a)	千円	12,814	230	356
	国庫支出金	千円	9,975		
	県支出金	千円			
	起債	千円			
	その他	千円			
	一般財源	千円	2,839	230	356
	職員人数 (概算職員数)	人		1.49	0.90
	人件費計 (b)	千円		9,131	5,372
総事業費 (a)+(b)	千円	12,814	9,361	5,728	
事業費内訳 H 27 年度	講師等謝金：120千円、普通旅費：40千円、消耗品費：20、食糧費：65千円、自動車通行料：15千円、新たな観光の核づくり推進協議会補助金：96千円				

3.指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	25年度 (実績値)	26年度 (実績値)	27年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 観光客数	千人	871	858	1,000
	②				
活動指標 (活動量)	① 事業費	千円	15,369	18,940	20,578
	②				
成果指標 (達成度等)	① 観光客数	千人	871	858	1,000
	②				

4.事務事業の評価

妥当性	<input type="checkbox"/> 妥当 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他
	・実施主体は妥当か 理由 町観光協会・商工会・町の3団体で提案した「新たな観光の核づくり」事業の推進に向けて、町内の関係機関と連携して「新たな観光の核づくり推進協議会」を編成し、検討を進めている。
妥当性	<input type="checkbox"/> 妥当 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他
	・実施手段は妥当か 理由 各関係機関との連携・調整を行いながら、「新たな観光の核づくり基本計画」の事業推進に取り組んでいる。
成果	<input type="checkbox"/> 得られている <input checked="" type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他
	・意図した成果が得られているか 理由 ニューツーリズムの創出では、ビーチスポーツとの連携を検討し、今年度ビーチテニスコートの常設や、各種スポーツ団体による大会・講習につながっている。大磯ブランド戦略の認定については、ブランド戦略プランの策定等を行っている。
効率性	<input type="checkbox"/> 効率的 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率的 <input type="checkbox"/> その他
	・コストに対して効率的か 理由 新たな観光の核づくり事業の推進に当たり、民間活力の導入や連携・調整を図るなど効率的な執行に努めている。
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他
	・コストの削減等を図ったか 理由 新たな観光の核づくり事業の推進に当たり、民間活力の導入や連携・調整を図るなど効率的な執行に努めている。
担当課による評価	<input type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）
評価理由 必要に応じ、随時計画を見直し、その計画に沿って進めていく。	

5.改革・改善の方向性

① 課題点や改善点
新たな観光の核づくり推進協議会での検討内容を、町全体で共有できるよう、周知についての工夫が必要となっている。
② 平成27年度に着手する事項
引き続き、計画に沿った事業を進める。 大磯ブランドの醸成やスポーツツーリズムの活用に取り組む。
③ 平成28年度に着手する事項
引き続き、計画に沿った事業を進める。 各関係機関の主体的な取組みの促進に向けた総合調整や行政としてできる団体への支援を引き続き行っていく。

6.平成28年度事業への取組み状況（改善内容等）

記入日 平成28年2月26日

ブランド戦略の推進に向け、町の魅力を構成する要素をまとめた「9つの価値観」や大磯での暮らしぶりを紹介する冊子を発行し、町の魅力の発信・周知・浸透を図る。
--

予算事業名	大磯港活性化事業	シート作成日	平成27年8月28日
		担当課名	産業観光課
細分事業名	—	係名	みなと推進係
		事業番号	27
		事業開始年度	平成21年度

1.総合計画上の位置づけ

章	第5章 個性と魅力と活力のあるまちづくり	総合計画実施計画	
項	第4項 資源を生かした特色ある観光の推進	認定番号	—
節	第1節 観光	事業名	—

2.事業の概要

根拠法令・条例等	—				
個別計画等	—				
行革大綱実施計画事業 (細目コード・事業名)	—				
目的 (何のために)	大磯港の整備のあり方等について、県、関係団体等との調整を行う。				
対象 (誰を・何を)	町民、観光客、漁業関係者、骨材事業者				
内容	大磯港の整備のあり方等について、県、関係団体等との調整を行うとともに、国・県の関係団体等の諸活動にも参画し、連携を密にし、情報収集に努める。みなとまちづくりの推進のため、「大磯港みなとまちづくり協議会」活動の支援を行う。また、新たな観光の核づくり事業とも連携し、漁協施設の更新等を含めた新しい大磯港のあり方を検討する				
執行体制	<input checked="" type="checkbox"/> 町職員実施 <input type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
事業費	直接事業費 (a)	単位	平成25年度 (決算)	平成26年度 (決算見込)	平成27年度 (予算)
	国庫支出金	千円	267	190	3,553
	県支出金	千円			
	起債	千円			
	その他	千円			
	一般財源	千円	267	190	3,553
	職員人数 (概算職員数)	人	1.00	1.00	1.45
	人件費計 (b)	千円	9,682	9,682	8,655
	総事業費 (a)+(b)	千円	9,949	9,872	12,208
事業費内訳 H 27 年度	社会保険料：23千円、臨時雇賃金：1,340千円、管理委託料：2,000千円、神奈川県港湾協会負担金：90千円、大磯港みなとまちづくり協議会交付金：100千円				

3.指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	25年度 (実績値)	26年度 (実績値)	27年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 臨港駐車場利用台数	台	67,456	73,863	82,000
	②				
活動指標 (活動量)	① 職員数	人	1.00	1.00	1.45
	②				
成果指標 (達成度等)	① 臨港駐車場利用台数	台	67,456	73,863	82,000
	② 臨港駐車場利用料	円	50,664,030	55,516,560	60,000,000

4.事務事業の評価

妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他	理由	大磯港の整備や活性化を図るために町が関与することは妥当である。
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他	理由	大磯港をPRするため、稚魚の放流事業や農水産物まつりへの参加等、大磯港みなとまちづくり協議会事業に支援を行った。
成果	<input type="checkbox"/> 得られている <input checked="" type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他	理由	県、関係団体等と連絡、調整を図ることによって、大磯港の整備が順次行われている。
	<input type="checkbox"/> 効率的 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他	理由	最小限の経費であるため。
効率性	<input type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input checked="" type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他	理由	支出は、負担金・補助金・委託料・臨時雇賃金であり、ポートハウステるがさきの管理上必要最小限の費用と考える。
	<input type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）	評価理由	県、大磯港みなとまちづくり協議会などの関係団体と連絡、調整を図ることにより、大磯港の整備が順次行われている。

5.改革・改善の方向性

① 課題点や改善点	大磯港活性化整備計画に基づき、今後も県と協力して大磯港の整備を進めるとともに、活気に溢れた魅力あるみなとづくりのために更なる事業やイベントを計画していく必要がある。
② 平成27年度に着手する事項	大磯港みなとまちづくり協議会の協力を得ながら、観光の拠点となる漁協施設整備に係る意見具申等をする。
③ 平成28年度に着手する事項	大磯港みなとまちづくり協議会の協力を得ながら、観光の拠点となる漁協施設整備に係る意見具申・検討等を行う。 また、ポートハウステるがさきについて、プール開設期間中の管理も含めて、通年での効率的な管理運営方法を検討する。

6.平成28年度事業への取組み状況（改善内容等）

記入日 平成28年2月23日

港湾区域及びその周辺を大磯町観光の拠点のひとつとするため、国土交通省の制度である「みなとオアシス」の登録を目指す。同時に漁協施設の更新を踏まえた施設整備、配置計画等の基本構想を策定する。「ポートハウステるがさき」については、指定管理への移行を見据え、通年委託を行う。

予算事業名	大磯港指定管理事務事業	シート作成日	平成27年8月28日
		担当課名	産業観光課
細分事業名	—	係名	みなと推進係
		事業番号	28
		事業開始年度	平成21年度

1.総合計画上の位置づけ

章	第5章 個性と魅力と活力のあるまちづくり	総合計画実施計画	
項	第4項 資源を生かした特色ある観光の推進	認定番号	—
節	第1節 観光	事業名	—

2.事業の概要

根拠法令・条例等	港湾の設置及び管理等に関する条例				
個別計画等	—				
行革大綱実施計画事業 (細目コード・事業名)	—				
目的 (何のために)	神奈川県指定管理者として、大磯港の適切な維持管理と町民や観光客へのサービス向上に努め、将来は大磯港の周辺施設を含む一体的な管理を視野に入れ、より効果的な管理運営を目指す				
対象 (誰を・何を)	町民、観光客、漁業関係者、骨材事業者				
内容	県との間で締結した「大磯港の管理に関する基本協定書」等に基づき、大磯港の管理を行う。大磯港の維持管理及び新たな交流拠点に向けた魅力あるみなと空間の創出を図る				
執行体制	<input checked="" type="checkbox"/> 町職員実施 <input type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
事業費	直接事業費 (a)	単位	平成25年度 (決算)	平成26年度 (決算見込)	平成27年度 (予算)
	国庫支出金	千円	27,877	39,858	41,003
	県支出金	千円	24,813		
	起債	千円			
	その他	千円	3,694	35,187	
	一般財源	千円		4,671	41,003
	職員人数 (概算職員数)	人	2.00	2.00	1.65
	人件費計 (b)	千円	11,276	11,276	9,849
	総事業費 (a)+(b)	千円	39,153	51,134	50,852
事業費内訳 H 27 年度	共済費:78千円、賃金:4,689千円、旅費:10千円、需用費:6,771千円、役務費:472千円、委託料:15,663千円、使用料及び賃借料:454千円、原材料費:30千円、備品購入費:316千円、負担金補助及び交付金:12,520千円				

3.指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	25年度 (実績値)	26年度 (実績値)	27年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 大磯港指定管理料	千円	42,620	-	-
	② 駐車場利用料	千円	-	55,517	60,000
活動指標 (活動量)	① 職員数	人	2	2	2
	②				
成果指標 (達成度等)	① 大磯港維持管理	m ²	83,752.6	83,752.6	83,752.6
	②				

4.事務事業の評価

妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他	理由	大磯港を新たな交流拠点として、魅力あるみなと空間の創出のためには、町が指定管理を行うことは妥当である。
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他	理由	大磯港の管理に関する基本協定書等に基づき実施している。
成果	<input type="checkbox"/> 得られている <input checked="" type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他	理由	適切な維持管理を行うとともに、県と協力して港周辺の施設の整備も順次行っている。
	<input type="checkbox"/> 効率的 <input type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input checked="" type="checkbox"/> その他	理由	指定管理協定書に基づき管理運営を適正に行っており、歳入も順調に増加している。また、管理に必要な経費は必要最小限と考える。
効率性	<input type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input type="checkbox"/> 図る余地は無い <input checked="" type="checkbox"/> その他	理由	指定管理協定書に基づく管理運営を行っているため。
	<input type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）	担当課による評価	評価理由 適切な維持管理は行えたが、港の整備を着実に進めていく必要があり、継続して事業を進めていきたい。

5.改革・改善の方向性

① 課題点や改善点	大磯港活性化整備計画に基づき、今後も県と協力して大磯港の整備を進めるとともに、活気に溢れた魅力あるみなとづくりのために更なる事業やイベントを計画していく必要がある。
② 平成27年度に着手する事項	大磯港みなとまちづくり協議会の協力を得ながら、観光の拠点となる漁協施設整備に係る意見具申等をする。
③ 平成28年度に着手する事項	賑わい交流施設の整備計画に合わせ、港湾管理事務所の位置付けを神奈川県と調整して行く。

6.平成28年度事業への取組み状況（改善内容等）

記入日 平成28年2月23日

開かれた港湾を目指し、国土交通省の制度である「みなとオアシス」を目指す。また、港湾管理事務所について、現在会議室のみを一般開放しているが、事務所屋上の一般開放を検討する。